

pigeon

ピジョン

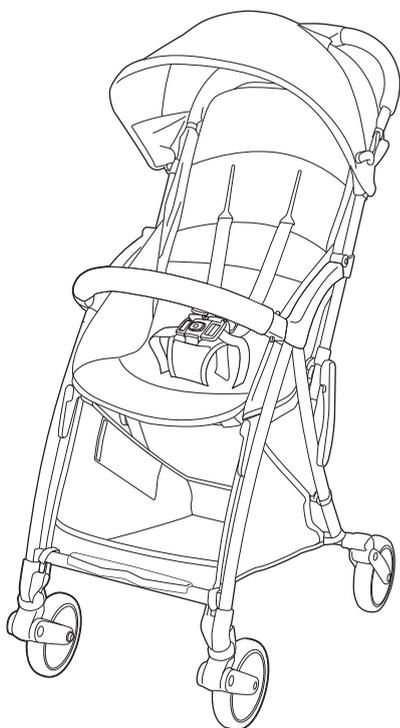
# Bingle

ピングル BB4

B形ベビーカー

取扱説明書

保証書付き



※ 取扱説明書のイラストは、ご使用方法や注意を分かりやすく説明するため、実際の商品とは、形状など異なる場合があります。

## もくじ

(Point!) 特に大切な部分です

はじめに 読んで ください	(Point!) 最初にご確認ください	2
	対象年齢	2
	望ましい連続使用時間	2
	梱包品の確認	3
	保証書にご記入ください	4
	各部の名称	5
	(Point!) 安全にお使いいただくために	7
使用方法	表記について	7
	安全上の警告	8
	使用上の注意	11
	使いかた	12
	ベビーカーの開きかた	12
	ベビーカーの折りたたみかた	13
	フロントガードの使いかた	14
	ストッパーの使いかた	15
	キャスターの使いかた	16
	バックル・シートベルトの使いかた	17
	シートベルトの長さや位置の調整	19
リクライニングの使いかた	21	
幌の使いかた	22	
カゴの使いかた	24	
インナーシートを取り外して使用する	24	
お手入れ	お手入れのしかた	25
	部品の取り外し/取り付け	25
	縫製品の洗濯	35
	車体の洗浄	36
	保管のしかた	36
	(Point!) 点検のしかた	37
注油について	37	
こまった ときに	廃棄方法について	38
	(Point!) こんなときは	39
	SG マーク被害者救済制度	40
	アフターサービス	41
	保証について/保証書	42
お問合せ先	裏表紙	

- ご使用の前に、本取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
- 本取扱説明書は、お読みになった後、大切に保管してください。
- 本品を他のお客様にお譲りになる際は、必ず本取扱説明書もあわせてお渡しください。



安全基準B形

生後7ヵ月～48ヵ月まで(体重17kg以下)

Point!

## 最初にご確認ください

この製品は、一般家庭でお子さまを乗せて、外気浴、買い物などに使用するための一人乗りベビーカー（乳母車）です。

### 対象年齢

#### ●対象年齢：生後7ヵ月以上48ヵ月まで

- ・ここでいう生後7ヵ月とは、出生体重が2.5kg以上かつ、在胎週数37週以上を満たし、7ヵ月を経過したお子さまをいいます。
- ・お子さまの発育により個人差があります。使用できるお子さまの体重の目安は17kg以下です。
- ・お子さまの足が車輪や地面に当たるようになった場合は、使用を中止してください。

### 望ましい連続使用時間

#### ●1時間以内

以下のページをお読みいただき、お子さまの体格、成長、月齢、または着衣の状況に応じて調整してください。

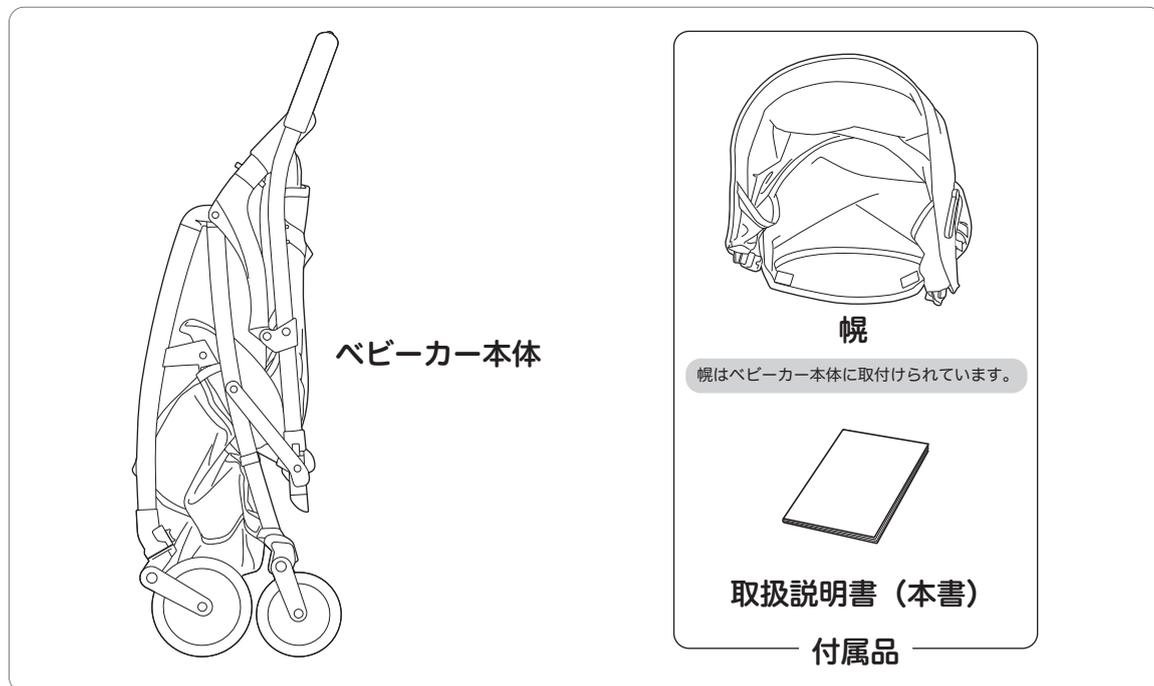
 ポイント

Q 参照 P.19-21 使用方法>使いかた>シートベルトの長さや位置の調整

Q 参照 P.21-22 使用方法>使いかた>リクライニングの使いかた

## 梱包品の確認

開封後、本体と付属品がすべて揃っていることをご確認ください。



### 警告

本体および部品を入れてあるポリ袋は、窒息事故を防ぐため、ただちに廃棄してください。

### 注意

本製品の開封・同梱品の確認作業中は、安全のためお子さまを近づけないようにしてください。

### 箱から出したときの製品の状態

- ・ インナーシートはベビーカー本体に取り付けられています。
- ・ 幌はベビーカー本体に取り付けられています。
- ・ 後輪のストッパーレバーはロックしてあります。
- ・ 前輪のキャスターロックレバーは解除してあります。
- ・ リクライニングの「背もたれ」の位置は起こした状態になっています。

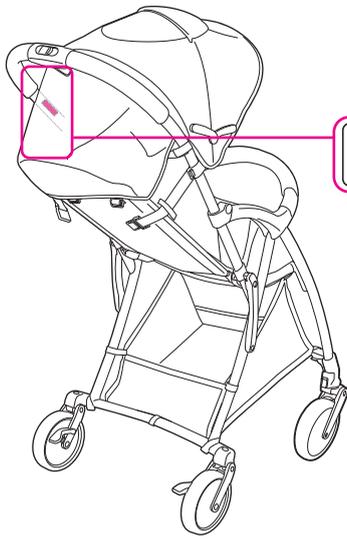
各部の名称は、本取扱説明書 P.5 「各部の名称」をご参照ください。

実際にお使いになる前に、お子さまの月齢、体格に応じてベビーカーを適切な状態に調整してください。

# 保証書にご記入ください

ご購入後、本取扱説明書巻末 (P.42) の「保証書」に次の項目をご記入ください。

- 製品のカラー
- シリアル No (ハンドル左内側に記載)
- お客様のお名前・ご住所・電話番号
- お買い求めになった販売店名
- 購入年月日 (ご購入時のレシート (領収書) を貼付してください)



製品名 Bingle (ピングル)  
シリアル No.

お客様のお名前  
ご住所  
電話番号  
購入年月日

**保証について**

保証書は日本国内において有効です。  
この保証書は明示した期間、条件の下において何歳までの対応をお約束するものではありません。  
言いまして、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。  
ご使用中、万一故障が発生した場合は、お買い上げの販売店または **ビジョン (株) 修理センター** 販店に保証書をもたせて、修理を依頼ください。  
保証期間経過後の故障などの対応につきましては、お分かりにならない場合は、お買い上げの販売店または **ビジョン (株) 修理センター** までお問合せください。  
保証書は再発行いたしません。(大切に保管してください)

製品名

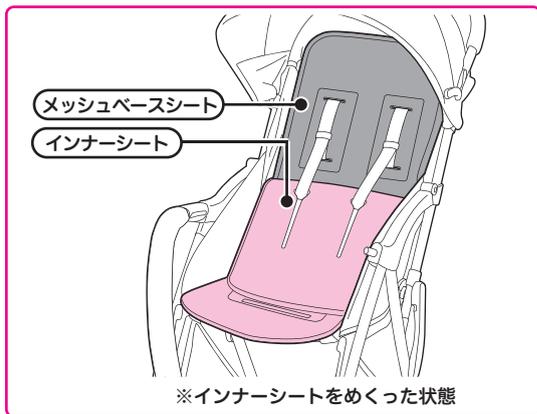
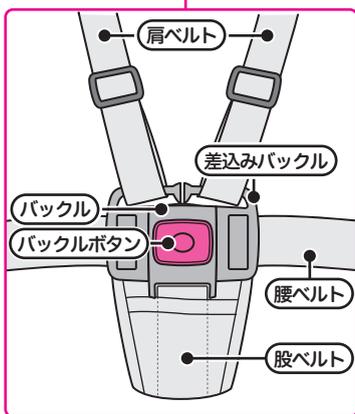
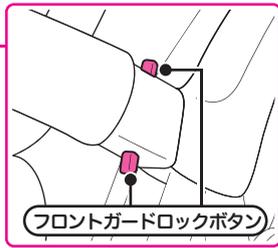
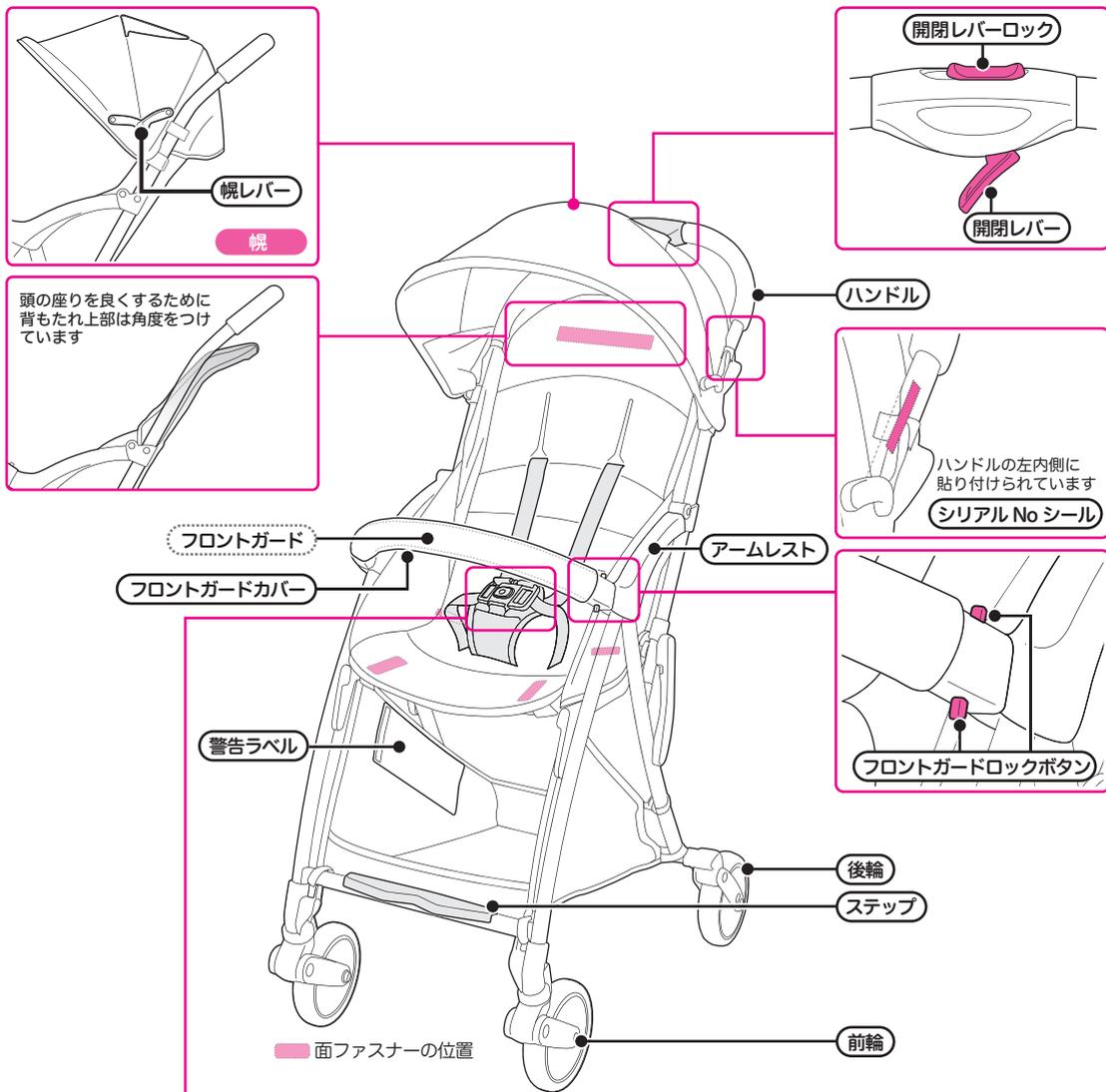
販売店名	ビジョン (株) 修理センター
販売店名	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
住所	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
郵便番号	〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
電話番号	03-XXXX-XXXX
購入年月日	20XX年XX月XX日

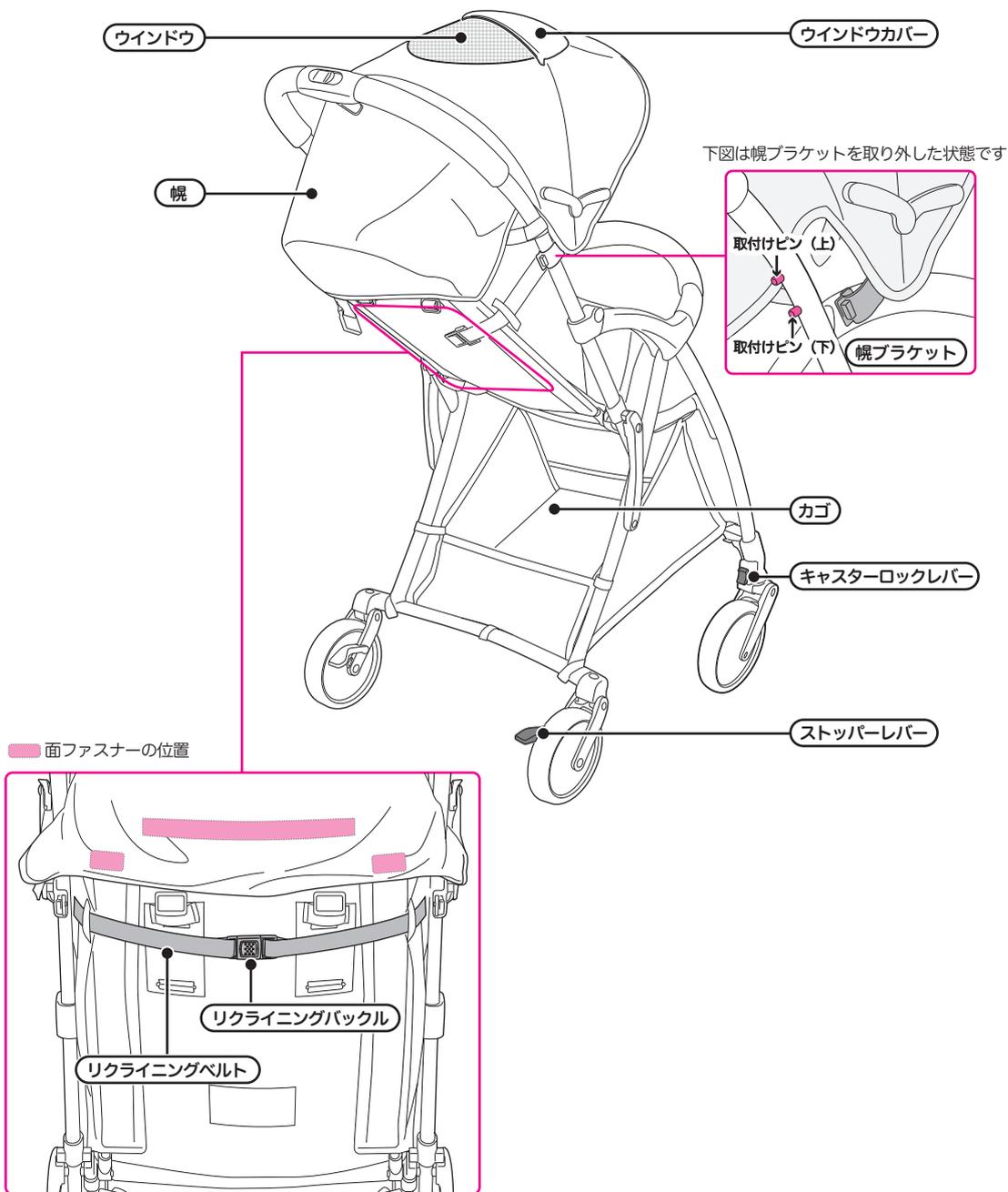
保証期間

1. 保証期間はご購入日より1年間です。
2. 保証期間は、保証書に記載の住所、および、保証書に記載の住所から10km以内の範囲に限定されます。保証期間中に修理が必要な場合は、保証書に記載の住所に修理センターまでご連絡ください。
3. 保証期間は、保証書に記載の住所、および、保証書に記載の住所から10km以内の範囲に限定されます。保証期間中に修理が必要な場合は、保証書に記載の住所に修理センターまでご連絡ください。
4. 保証期間は、保証書に記載の住所、および、保証書に記載の住所から10km以内の範囲に限定されます。保証期間中に修理が必要な場合は、保証書に記載の住所に修理センターまでご連絡ください。
5. 保証期間は、保証書に記載の住所、および、保証書に記載の住所から10km以内の範囲に限定されます。保証期間中に修理が必要な場合は、保証書に記載の住所に修理センターまでご連絡ください。
6. 保証期間は、保証書に記載の住所、および、保証書に記載の住所から10km以内の範囲に限定されます。保証期間中に修理が必要な場合は、保証書に記載の住所に修理センターまでご連絡ください。
7. 保証期間は、保証書に記載の住所、および、保証書に記載の住所から10km以内の範囲に限定されます。保証期間中に修理が必要な場合は、保証書に記載の住所に修理センターまでご連絡ください。

42

# 各部の名称





Point!

# 安全にお使いいただくために

## 表記について

ここでは、本製品を安全に使用する上でご理解いただきたい重要な事柄や、禁止されている使用方法などを記載しています。

記載内容が守られなかった場合は、お子さまや使用者の方および他の人々に重大な損害を及ぼすおそれがあります。本取扱説明書では、取り扱いを誤った結果、発生が予想される危害・損害の大きさや切迫度により、項目を【警告】【注意】の2項目に分けて示しています。

表示	表示の内容
 <b>警告</b>	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
 <b>注意</b>	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

ご使用の際にお守りいただく内容を下記の表示マークで示しています。

表示マーク	マークの意味
	警告・注意を促す内容があることを示します。
	禁止行為を示します。

### ポイントの表記



**ポイント**

本製品を使用するにあたり、知っておいていただきたい大切な事柄および本製品をより便利に使用していただくための情報です。

### 参照の表記



**参照**

表記されているページ番号や項目名は、説明内容の補足や関連する操作方法、注意事項が記載されている場所を示しています。

## 安全上の警告

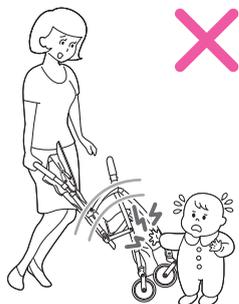


## 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

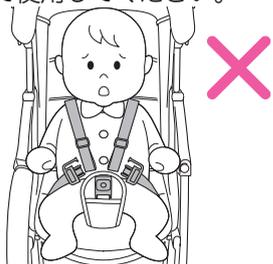
お子さまの手や指が挟まれるおそれがあります。  
お子さまが落下するおそれがあります。

そばにお子さまや他の人がいるときにベビーカーの開閉操作やリクライニング操作、幌、フロントガードなどの操作を行わないでください。



お子さまが落下するおそれがあります。  
ベルトが首に巻きつきお子さまが窒息するおそれがあります。

お子さまは座面の正しい位置に座らせ、全てのシートベルト（肩ベルト、腰ベルト、股ベルト）を必ず締めて使用してください。

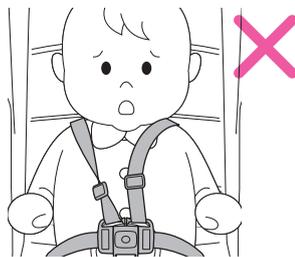


シートベルトを締めていない状態でお子さまが前傾姿勢になる（前方に体重がかかる）と大変危険ですので、絶対におやめください。



シートベルトは、ゆるみやねじれがないことを確認してください。

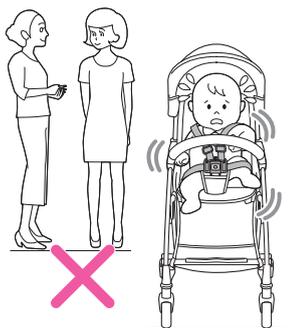
シートベルトを正しく調整し、確実に取り付けてください。肩ベルトが長すぎる状態で使用した場合に、首に巻きついたりするおそれがあります。



お子さまをベビーカーの中で立たせないでください。



お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルト（肩ベルト、腰ベルト、股ベルト）を締めていてもお子さまからは目を離さず、抜け出しや立ち上がりには十分注意してください。



**警告**

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

ベビーカーの転倒によりお子さまが落下したり、ベビーカーが折りたたまれてお子さまが挟み込まれるおそれがあります。

ベビーカーが破損して、お子さまが落下するおそれがあります。

破損、異常が発生した場合は、ただちに使用を中止してください。

そのまま使用せず、本取扱説明書裏表紙に記載の修理センターにご連絡ください。



二人以上のお子さまを乗せないでください。

お子さまを座面以外のところに乗せないでください。



お子さまを乗せたままベビーカーを持ち上げないでください。ベビーカーを持ち運ぶ際は、ベビーカーを折りたたみ、ハンドルまたはフロントガードを持って運んでください。

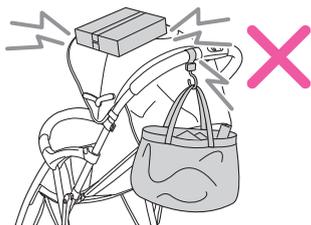


お子さまにベビーカーを操作させないでください。

**▲ 後方転倒に注意！**

カゴ以外の所に荷物を載せたり、ハンドル部に荷物をつるさないでください。

ただし、カップホルダー等の純正オプション品が取り付けられる場合には、オプション品の取扱説明書に記載の使用方法に従って使用してください。



階段・エスカレーターなどでは使用しないでください。

砂場・泥水・砂浜・河原・山道・ぬかるみ・雪道・水たまりでは使用しないでください。



ベビーカーに寄りかかったり、大人が座るなど、過度の荷重をかけないでください。



風の強いとき、雷のときなど悪天候のときは使用しないでください。使用者も危害を受けるおそれがあります。

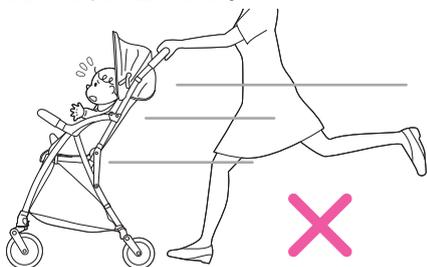


**警告**

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

ベビーカーの転倒によりお子さまが落下したり、ベビーカーが折りたたまれてお子さまが挟み込まれるおそれがあります。ベビーカーが破損して、お子さまが落下するおそれがあります。

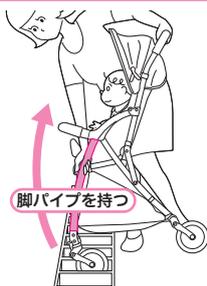
ベビーカーはゆっくり歩いて押してください。走ると車輪が揺れて転倒するおそれや、お子さまに悪影響を与えるおそれがあります。



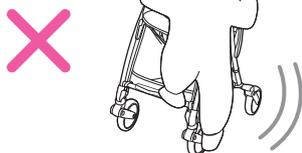
排水溝の蓋(グレーチング)の上や路上の凹凸(段差やくぼみなど)、踏切などの走行は、溝の幅や車輪の向き、お子さまの体重や荷物の状態により、挟まったり転倒するなどのおそれがありますので、路面状況には十分ご注意ください。



車輪が溝に挟まったときには、挟まった車輪の脚パイプとハンドルを持って、車輪を引き抜いてください。その際はお子さまが落下しないように十分注意してください。



お子さまが乗り降りする際は、ベビーカーやお子さまをしっかりと支えてください。



ベビーカーが動き出したり、転倒することによりお子さまが落下するおそれがあります。

ストッパーは、構造上、いかなる状態でもベビーカーを静止させることのできるものではありません。ストッパーのロックをかけていても動き出すおそれがあります。ストッパーを過信しないでください。

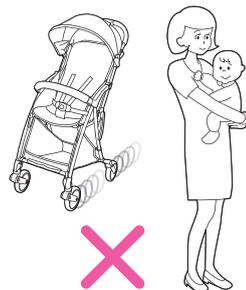


お子さまや荷物を乗せたままベビーカーから離れないでください。ストッパーのロックをかけていても離れないでください。



お子さまを乗せていない状態でも必ずストッパーのロックはかけてください。

空車であっても、坂の途中や車道に近い歩道上など危険な場所に放置しないでください。



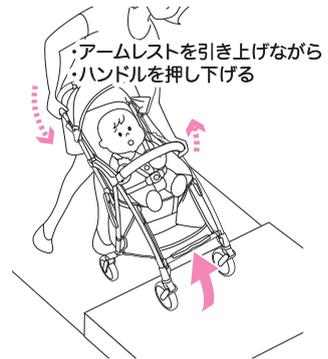
## 使用上の注意



### 注意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害が発生する可能性があります。

1. お子さまを乗せる以外の目的で使用しないでください。目的以外の使用は破損・故障・ケガなどのおそれがあります。
2. ベビーカー本体には、お子さまや荷物を乗せることを目的としたボードなどは取り付けしないでください。ベビーカーの破損の原因となります。
3. フロントガードは引っ張ったり、振り回したり、必要以上に曲げたりしないでください。破損、故障のおそれがあります。
4. ベビーカーを折りたたむ前に、必ず幌を背もたれ側に折りたたんでください。幌を広げたまま、ベビーカーを折りたたむと、幌の先端がフロントガードに引っ掛かり、幌が変形するおそれがあります。また、ベビーカーが開けなくなるおそれがあります。
5. ご使用の前に、日常点検を行ってください。点検する項目は、本取扱説明書 P.37 「日常的な点検項目」を参照してください。
6. 前輪を持ち上げたままの状態で行きしないでください。過度の荷重がベビーカーに加わり、破損・故障のおそれがあります。
7. 路面の段差や傾斜に突き当たったり、道路のくぼみに車輪が入ったりした場合や、タイヤが横を向いて乗り越えられない場合、無理に押し乗り越えようとせず一旦止まり、必ず前輪を浮かせて段差を乗り越えてください。(右図)  
前輪を浮かさず無理に段差を乗り越えようとすると前輪に衝撃が加わり転倒・破損・故障の原因になります。
8. 炎天下では直射日光や路面からの熱によりベビーカー内の温度が上昇しますのでご注意ください。高温注意情報・熱中症注意報などの発表時は、外出を控えてください。
9. 冬季はベビーカー内の温度も下がります。お子さまが寒くないよう保温を行ってください。
10. ご自身で、ベビーカーを分解、改造、修理しないでください。修理が必要な場合は、本取扱説明書裏面に記載の修理センターへご連絡ください。
11. このベビーカーは、バス・電車などの乗り物内での使用を目的として設計されていません。  
バス・電車の中で、お客様の責任により使用するときは、事前にご利用の公共交通機関に利用の可否、使用方法をご確認ください。  
電車の中で使用するときは、カーブや急ブレーキなどで転倒するおそれがありますので、必ずストッパーのロックをかけて、十分に注意してご使用ください。  
バス等の公共交通機関の指定により、ベビーカーを固定する際はフレームなどの容易に外れない部分を固定し、その他の注意事項に従ってください。  
電車ご利用の際は、無理な乗り降りはいしないでください。ベビーカーが自動ドアにはさまれてケガをする場合があります。また、ホームと電車の段差、隙間には十分注意して乗降してください。  
駅のホームには傾斜があります。ベビーカーから手を離さないでください。
12. 車中に長時間保管することはおやめください。熱によりタイヤやフレームが変形し、故障の原因となります。
13. 操作が分からないときは、本取扱説明書 P.39 「こんなときは」を参照してください。



# 使いかた

ここでは、本製品の基本的な使用方法を説明しています。

## ポイント

ベビーカーの操作は周囲の安全を確認した上で行ってください。操作の内容によっては、ベビーカーが動くといけない場合があります。その場合は、ストッパーをかけてから行ってください。

参照 P.15 使用方法>使いかた>ストッパーの使いかた

## ベビーカーの開きかた

### 警告

ベビーカーを開くときは、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけないで行ってください。手や指を挟んだりするおそれがあります。

### 注意

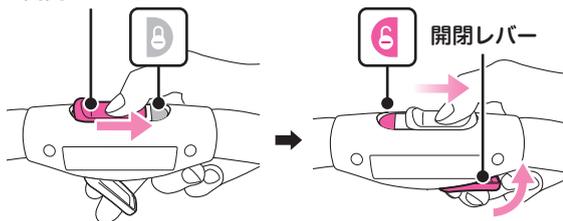
- ハンドルを持ち上げて、車体を浮かせた場合は開くことができません。
- 開閉レバーが固い場合は、背もたれと座面の間に股ベルトが挟まれている場合があります。股ベルトを引き出してください。
- ベビーカーの使用中は、開閉レバーロックがロックされていることを確認してください。
- 開閉レバーロックがロック状態のまま開閉レバーを握らないでください。
- ベビーカーを開くときは、必ず幌を背もたれ側に折りたたんでください。

## 01

タイヤが接地した状態でベビーカーの後ろに立ち、

- ① 開閉レバーロックを横にスライドさせて解除したまま、
- ② 開閉レバーを握ります。

開閉レバーロック



- ① 開閉レバーロックを解除したまま
- ② 開閉レバーを握る

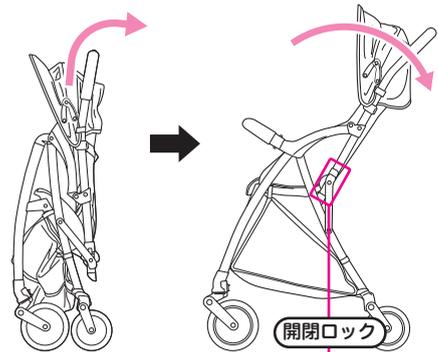
※図はハンドル後方から見たものです。

## 02

開閉レバーと開閉レバーロックを握ったまま、ハンドルグリップを持ち上げ後ろに引きます。

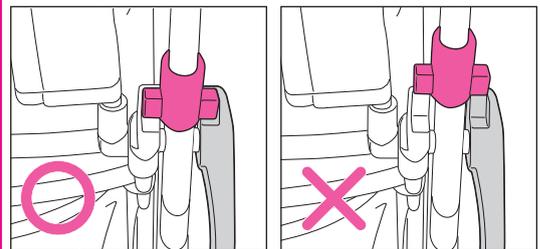
## 03

ベビーカーが完全に開いたら、開閉レバーと開閉レバーロックから手を離し、左右の開閉ロックが完全にかかっていることを確認します。



ロック状態

未ロック状態



※図は後方から見たものです。

## 04

ハンドルを持って、前後輪を交互に持ち上げ、ベビーカーが折りたたまれないことを確認します。

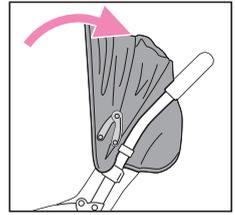
# ベビーカーの折りたたみかた

## 警告

ベビーカーを折りたたむときは、そばに人（特に小さいお子さま）を近づけないで行ってください。手や指を挟んだりするおそれがあります。

## 注意

- 座面やカゴに荷物が入っていないことを確認してから折りたたんでください。
- 折りたたむときに、引っ掛かりや挟み込みなどを感じたら、折りたたむのを一旦止めて、荷物や玩具、シートベルトなどが引っ掛かっていないかを確認してください。無理に折りたたむと故障のおそれがあります。
- ベビーカーを折りたたむ前に、必ず幌を背もたれ側に折りたたんでください。幌を広げたまま、ベビーカーを折りたたむと、幌がフロントガードに引っ掛かり、幌が変形するおそれがあります。また、ベビーカーが開けなくなるおそれがあります。



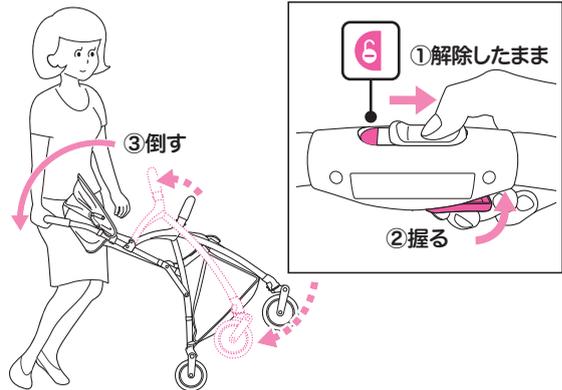
Q参照 P.23 使用方法>使いかた>幌の使いかた>幌を折りたたむ

- ベビーカーを折りたたむときには、座面シートの左右両端がアームレストやハンドルに挟み込まれないように注意してください。
- カゴに荷物を入れたままベビーカーを折りたたむときは、無理なく折りたたみできることを確認してください。ベビーカーの破損や荷物のつぶれの原因となります。変形や破れやすい荷物は避けてください。
- 荷物を入れたまま折りたたむ場合、荷物を入れていない状態に比べて転倒しやすくなります。また、荷物を入れたまま折りたたむ際は、開閉ロックが完全にかかっていることを確認してください。

## 01

ベビーカーの後ろに立ち、

- ① 開閉レバーロックを横にスライドさせて解除したまま、
- ② 開閉レバーを握り、
- ③ そのまま、後タイヤを支点にしてベビーカーを後ろに傾けます（矢印の方向に倒す）。

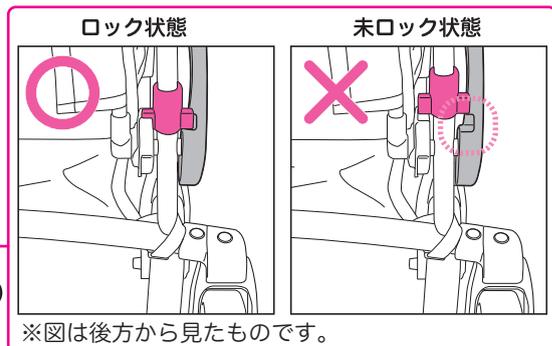


## 02

開閉レバーと開閉レバーロックから手を離し、左右の開閉ロックが完全にかかっていることを確認します。

## 注意

置き場所が平坦でない場所や、電車内などの揺れる場所に置く場合は、前輪キャスターをロックすると、安定しやすくなります。



## フロントガードの使いかた

### 警告

- フロントガードを引っ張って使用したり、振り回さないでください。破損やケガのおそれがあります。
- フロントガードに過度の力を加えたり、必要以上に曲げたり、過度の衝撃を与えないでください。
- お子さまの乗せ降ろしはフロントガードの片側を開いて行ってください。手足や服などが引っ掛かり、ベビーカーが転倒したり、お子さまが落下したりするおそれがあります。
- お子さまを乗せ降ろしするときは、必ず事前に平坦な路面でストッパーをロックしてから行ってください。ロックしないと、操作中にベビーカーが動き出したり、転倒することにより、お子さまが落下したりするおそれがあります。また、第三者に危害を加えるおそれがあります。
- フロントガードはお子さまの立上がりやズレ落ち、抜け出しを防ぐものではありません。お子さまを乗せる際には必ずシートベルトを締めてください。
- フロントガードロックボタンはお子さまに操作させないでください。フロントガードが急に外れることがあります。
- お子さまを乗せたままベビーカーを持ち上げないでください。フロントガードの破損、またはフロントガードが抜け落ちるおそれがあります。ベビーカーを持ち運ぶ際は、ベビーカーを折りたたみ、ハンドルまたはフロントガードを持って運んでください。
- フロントガードカバーは、フロントガードロックボタンにかからない位置に取り付けてください。フロントガードカバーがボタンにかかるとフロントガードが急に外れるおそれがあります。

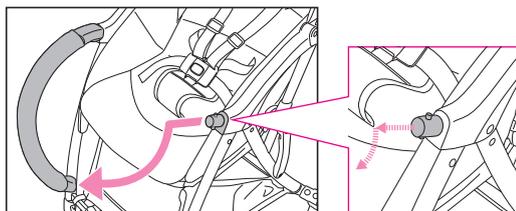
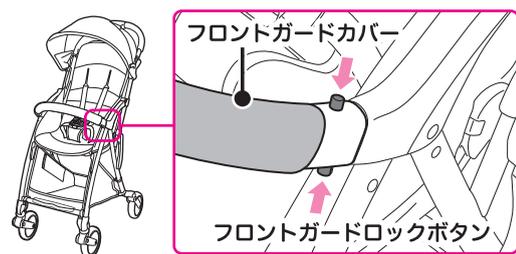
### 注意

- ベビーカーをご使用の際はフロントガードカバーを必ず付けてください。
- フロントガードは正面右側のみ開きます。

### フロントガードを開く

#### 01

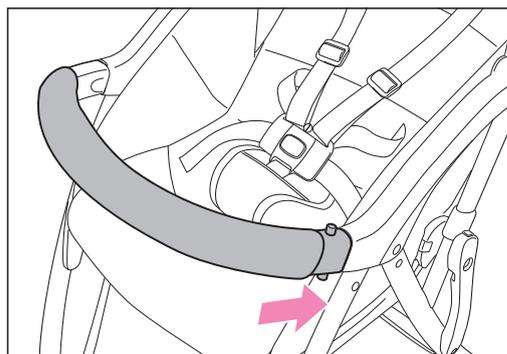
正面から見てフロントガードの、右側上下2つのフロントガードロックボタンを同時に押し込んだまま、手前に引き開きます。



### フロントガードを閉じる

#### 01

フロントガードをアームレストの突起に合わせ、押し込みます。



#### 02

フロントガードを軽く引っ張って、ロックが外れないことを確認してください。

## ストッパーの使いかた

### 警告

- ベビーカーの各部の操作は、必ず事前に平坦な路面でストッパーをロックしてから行ってください。ロックしないと、操作中にベビーカーが動き出したり、転倒することによりお子さまが落下したりするおそれがあります。また、第三者に危害を加えるおそれがあります。
- ストッパーは、構造上、いかなる状態でもベビーカーを静止させることができません。ストッパーをかけていても動き出すおそれがあります。
- お子さまや荷物の有無に関わらず、ストッパーを過信せず、常にベビーカーから離れないでください。
- ストッパーは、両輪ともにかけてください。片輪のみでは、ベビーカーが動き出したり、転倒したりするおそれがあります。

### 注意

ストッパーをかけた状態で、無理に動かしたり、体重をかけて寄りかかるような行為は破損、転倒のおそれがあります。

#### ストッパーのロックを解除する

##### ポイント

ご購入時には、ストッパーがロックされています。

#### 01

ストッパーは、左右の後輪に装備されています。ストッパーレバーを引き上げて、ロックを解除します。

左右両方とも解除してください。

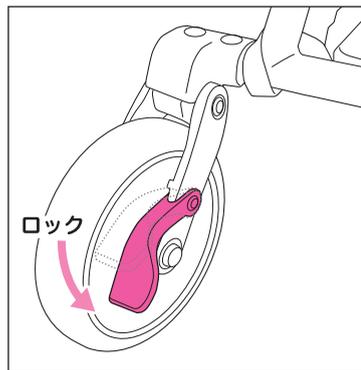


左右両方の後輪をロック解除してください

#### ストッパーのロックをかける

#### 01

ストッパーレバーを押し下げて、ロックします。左右両方ともロックしてください。



左右両方の後輪をロックしてください

#### 02

ベビーカーを軽く前後に動かしてストッパーのロックがかかっていることを確認します。

## キャスターの使いかた

平坦な道路では、キャスターロックを解除すると前輪の向きが変わるので、方向転換がスムーズにできます。

キャスターロックすると前輪が直進方向に固定されます。ベビーカーを直進方向に安定させる必要がある場合は、キャスターをロックして使用してください。

キャスターは左右の前輪に装備されています。キャスターロックレバーを操作して、解除またはロックします。キャスターロックレバーは常に左右とも同じ状態(解除またはロック)になるようにしてください。

### 警告

荒れた路面を走行する場合は、キャスターロックが解除されていると、凸凹の影響で車輪が取られ、キャスターが振れて直進が困難になることがあります。

このようなときは、キャスターロックすると走行しやすくなる場合があります。

ただし、キャスターロックしても走行が困難な場合は、車体が転倒するおそれがありますので、走行しないでください。

### キャスターロックのしかた

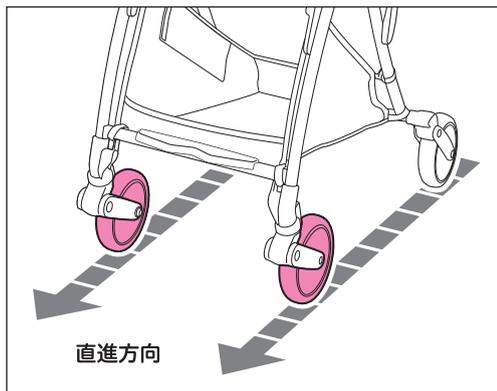


ポイント

ご購入時は、キャスターロックは解除されています。

### 01

左右の前輪を直進方向に向けます。



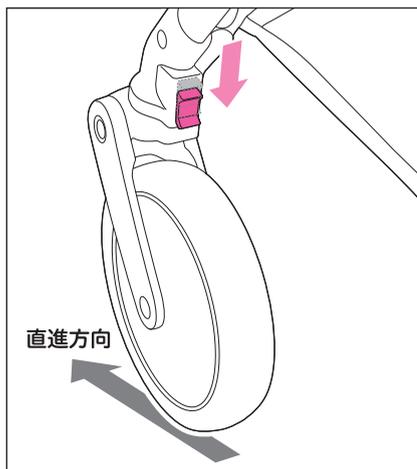
ポイント

前輪が直進方向に向いていないと、キャスターロックレバーは操作できません。

### 02

キャスターロックレバーを下げてキャスターをロックすると、前輪が直進方向で固定されます。

左右とも同じようにしてください。

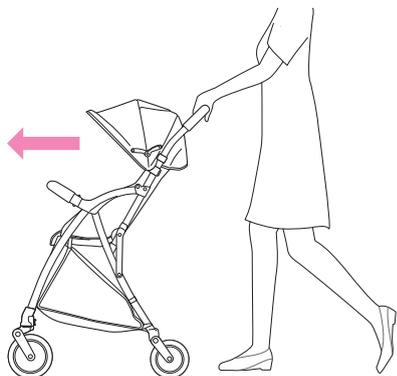


### 注意

キャスターロックレバーが下がらない場合は、無理に下げようとせず、前輪が直進方向に向いているかを確認してください。前輪が直進方向を向いていないと、キャスターロックレバーを下げることはできません。無理に下げようとすると、キャスターや車輪が破損するおそれがあります。

**03**

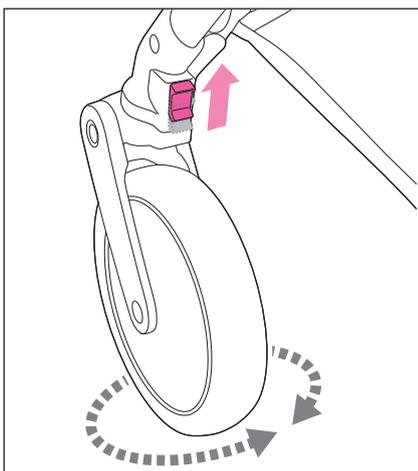
左右ともキャストがロックされ、直進方向に固定されていることを確認してください。



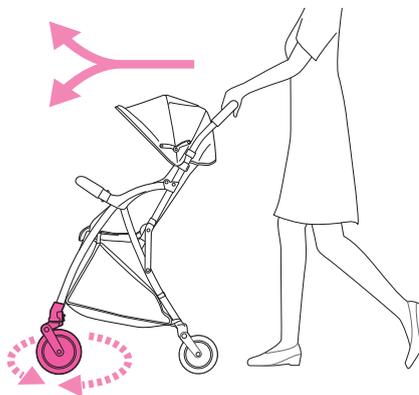
### キャストロックの解除のしかた

**01**

キャストロックレバーを完全に上げてキャストロックを解除します。左右とも同じようにしてください。

**02**

左右ともキャストロックが解除されてスムーズに方向転換できることを確認してください。



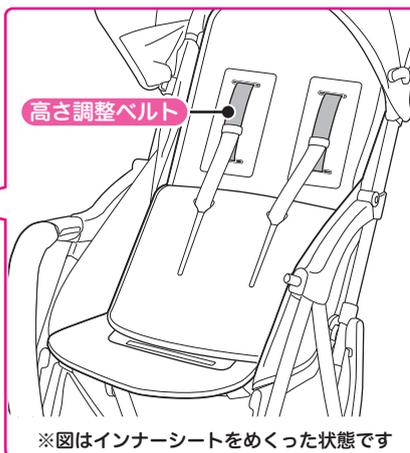
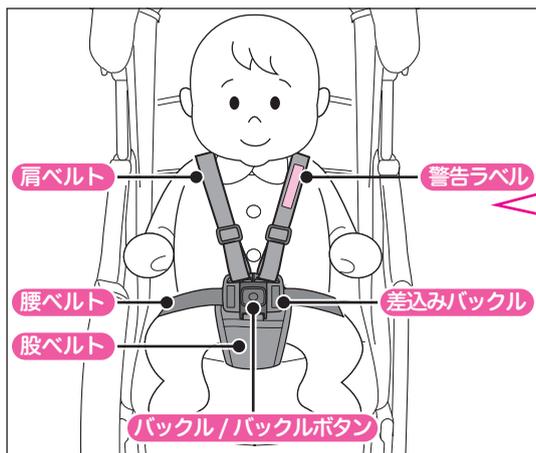
## バックル・シートベルトの使いかた

肩ベルト、腰ベルト、股ベルトを合わせてシートベルトと呼びます。シートベルトは、お子さまの体型に合わせて長さを調整してください。

**警告**

- シートベルトの取り付け、取り外しは、本取扱説明書の指示に従ってください。誤った操作をすると、ベルトがバックルから抜けるなどして、お子さまが落下したりするおそれがあります。
- お子さまを乗せたり降ろしたりするときは、必ず事前に平坦な路面でストッパーをロックしてから行ってください。
- お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。バックルを差し込まなかったり、シートベルトの締めかたが不完全だったりすると、お子さまが落下したりするおそれがあります。
- 肩ベルトは左右を交差させないでください。お子さまの首を圧迫するおそれがあります。
- シートベルトはお子さまの体に合わせて調整を行い、締めすぎやねじれ、ゆるみがないように締めてください。
- シートベルトを締めていても、お子さまの抜け出しや、立上がりには十分に注意してください。
- シートベルトはいかなる場合でも抜け出しや立上りを防止できるものではありません。常に目を離さないようにご注意ください。
- バックルボタンやベルトをお子さまに操作させないように注意してください。
- 洗濯などでシートベルトを取り外した場合は、本取扱説明書に従って正しく取り付けてください。取り付けかたが不完全な場合、使用中にベルトやバックルが抜けるおそれがあります。取り付け後に引っ張って抜けないことを確認してください。

各部の名称



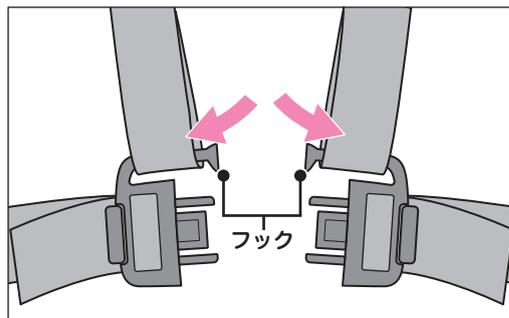
シートベルトの締めかた

**01**

お子さまの股の間から股ベルトを通します。

**02**

肩ベルトを差込みバックルのフックに取り付けます。

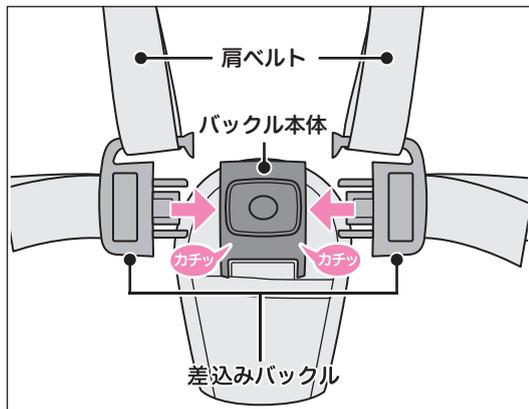


ポイント

図では、わかりやすくするためにフロントガードを外していますが、フロントガードを付けたままでも操作することができます。

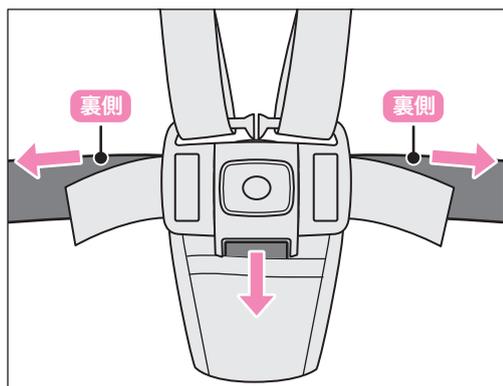
03

左右の差込みバックルをバックル本体にしっかり差し込みます。



04

腰ベルト裏側、股ベルトを引っ張って、バックルが外れないことを確認します。



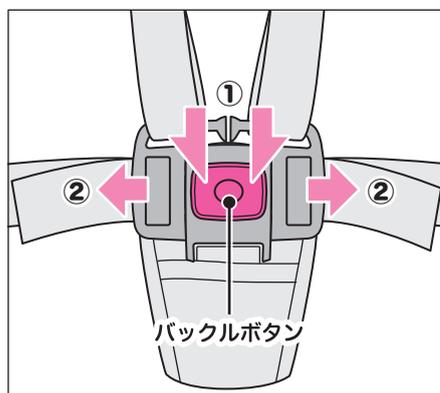
注意

お子さまが乗っていない場合でも、バックルを留めておいてください。シートベルトやバックルが、折りたたむ際や走行中に挟まり、ベビーカーが開閉できなくなったり、破損したりするおそれがあります。

シートベルトを外す

01

- ① バックルボタンを押し、
- ② 差込みバックルを外します。



ポイント

バックルボタンは中央部ではなく、**差込みバックルを外す側を押してください**。中央部を押した場合は、左右の差込みバックルが外れない場合があります。

お子さまが誤って外さないよう、バックルボタンの操作は硬めになっています。

シートベルトの長さや位置の調整

お子さまは思わぬ動作をしますので、シートベルト（肩ベルト、腰ベルト）を締めていてもお子さまの抜け出しや立上がりには目を離さず、十分注意してください。

肩ベルトはお子さまの成長に合わせて高さの調整ができます。

お子さまの落下事故はお子さまの動きが活発になる生後7ヵ月頃から1才未満の頃に発生しやすいので、必ずお子さまの成長に合わせて、位置を変更してください。

## 警告

シートベルトの調整は下記の手順に従ってください。誤った調整を行うと、ベルトやバックルが抜け、お子さまが落下するおそれがあります。

## 長さの調整

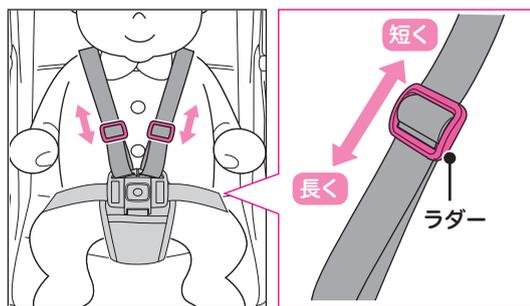
お子さまの成長や着衣の状態に合わせて調整してください。

リクライニングの角度の調整、各ベルトの調整により、シートベルトの長さに多少の影響が出ます。これらの場合にはシートベルトの長さをこまめに調整してください。

### 肩ベルトの長さの調整

#### 01

ラダーの位置を移動して、長さを調整します。  
左右の肩ベルトが同じ長さになるように調整してください。



#### ポイント

ラダーの位置を高くすれば肩ベルトの長さは短くなり、低くすれば長くなります。

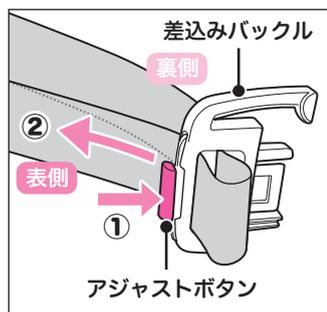
### 腰ベルトの長さの調整

腰ベルトは、バックルとお子さまのおなかの間に大人の指が1本入る程度の隙間で調整してください。

差込みバックルの位置を移動して、長さを調整します。

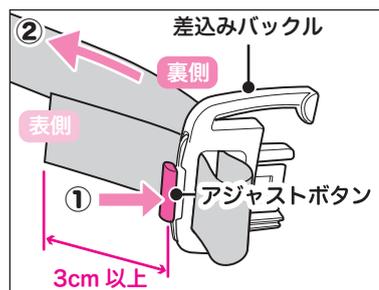
### 締めかた

- ① 差込みバックルのアジャストボタンを押しながら、
- ② **表側**にある腰ベルトを、矢印の方向に引っ張り、締めすぎないように調整します。アジャストボタンから手を離すと、調整した長さで固定されます。



### ゆるめかた

- ① 差込みバックルのアジャストボタンを押しながら、
- ② **裏側**にある腰ベルトを、矢印の方向に引っ張り、ゆるめすぎないように調整します。アジャストボタンから手を離すと、調整した長さで固定されます。



## 注意

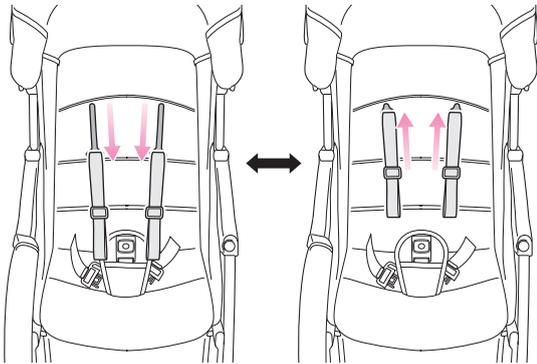
差込みバックルから腰ベルトが抜けるおそれがあります。表側の腰ベルトが3cm以上になるように調整してください。

## 肩ベルトの高さの調整

肩ベルトはお子さまの成長に合わせて高さの調整ができます。

### 01

肩ベルトを上下に移動させて肩ベルトの高さを調整します。**左右の肩ベルトが同じ高さになるように調整してください。**



#### ポイント

バックルを留めた状態で操作する場合、肩ベルトが強く締められて（短くして）いると、肩ベルトを高くすることができません。バックルを外すか、肩ベルトをゆるめて（長くして）から操作してください。

## リクライニングの使いかた

本製品では、シートの背もたれを倒したり、起こしたりして使用することができます。お子さまの様子に合わせて、調整して使用してください。

シートの背もたれの調整は、リクライニングで行います。

### 警告

- お子さまを座らせたままリクライニングの操作をする場合、操作をする前に必ず肩ベルトをゆるめてから操作してください。
- ベビーカーを押しながらリクライニングの操作をしないでください。バランスを崩すおそれがあります。

### 注意

- お子さまを座面に座らせたままリクライニングを倒す操作をするときは、リクライニング角度が急に変わらないように、お子さまの体重を手で支えながら行ってください。
- 体重が背もたれにかかった状態で、無理に背もたれを起こさないでください。故障の原因になります。
- お子さまを座らせた際に、お子さまの頭頂部がシート上端より上にくる場合はシートを倒して使用しないでください。バランスを崩して転倒し、お子さまが落下するおそれがあります。

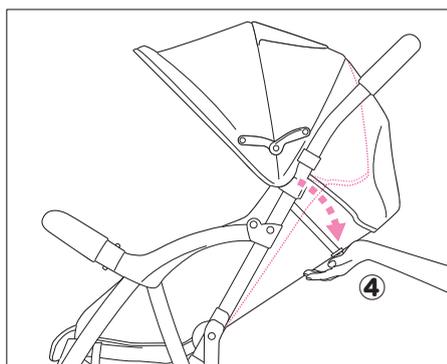
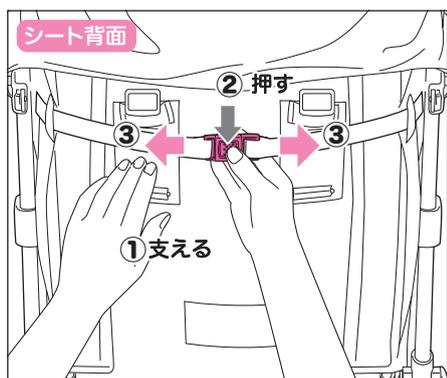
## 背もたれを倒す

### 01

お子さまを乗せたままのときは、肩ベルトをゆるめます。

### 02

- ① 片手で背もたれを支えながら、
- ② リクライニングバックル中央を押して、
- ③ バックルを解除します。
- ④ 片手でサポートしながら、ゆっくりと最後まで背もたれを倒してください。



## 背もたれを起こす

### ⚠ 注意

この操作は、安全のため、お子さまが背もたれに寄りかかっているときは行わないでください。

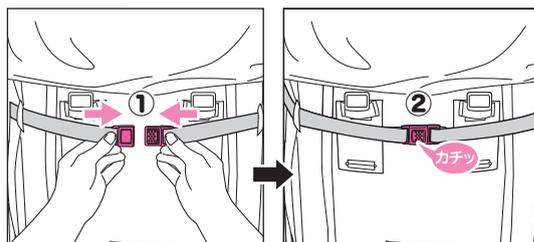
### 01

背もたれにお子さまの体重が寄りかかっていることを確認します。

### 02

- ① リクライニングバックルを引き寄せて、
- ② カチツとなるまでバックルを差し込みます。

シート背面



### 03

左右のリクライニングベルトを外側に引いてもリクライニングバックルが外れないことを確認します。

## 幌の使いかた

お子さまの成長に応じて幌の取付け位置を変更（下段または上段）することができます。

### ⚠ 警告

ベビーカーをご使用になるときは、幌を必ず取り付けてください。

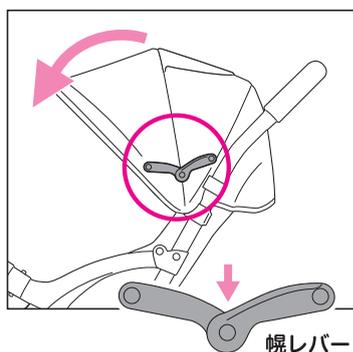
## ⚠ 注意

- ベビーカーを折りたたむ前に、必ず幌を背もたれ側に折りたたんでください。幌を広げたまま無理に折りたたむと、幌が破損するおそれがあります。
- 幌の上に荷物を置いたり、荷重をかけたりしないでください。
- お子さまの月齢が36ヵ月を超える、もしくは頭頂部が幌に当たるようになったら、上段に付け替えてください。
- 幌は、左右同じ高さになるように取り付けてください。左右で高さが異なると、幌が変形したり幌が本来の機能を果たさないおそれがあります。

## 幌を広げる

### 01

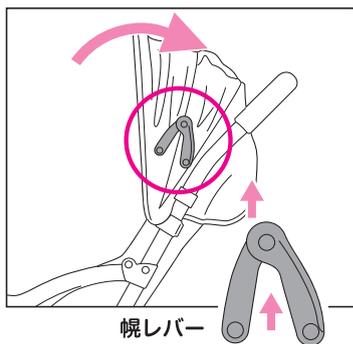
左右にある幌レバーの中央部を押し下げ、幌を前に広げて開きます。



## 幌を折りたたむ

### 01

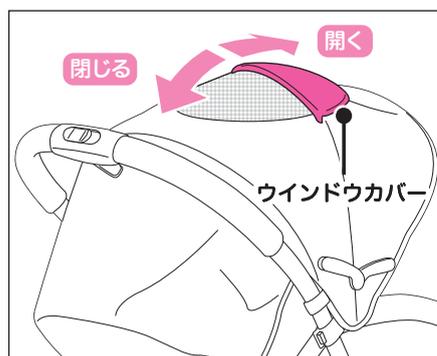
幌レバーの中央部を押し上げ、幌を後側にまとめて折りたたみます。



## ウインドウの開閉

### 01

幌上部のウインドウカバーを最後までしっかりとめくり、ウインドウを開閉します。



### ポイント

ウインドウを開ける際は、ウインドウカバーを最後までしっかりと開いてください。風や振動でウインドウカバーがめくれ、窓をふさぐ場合があります。

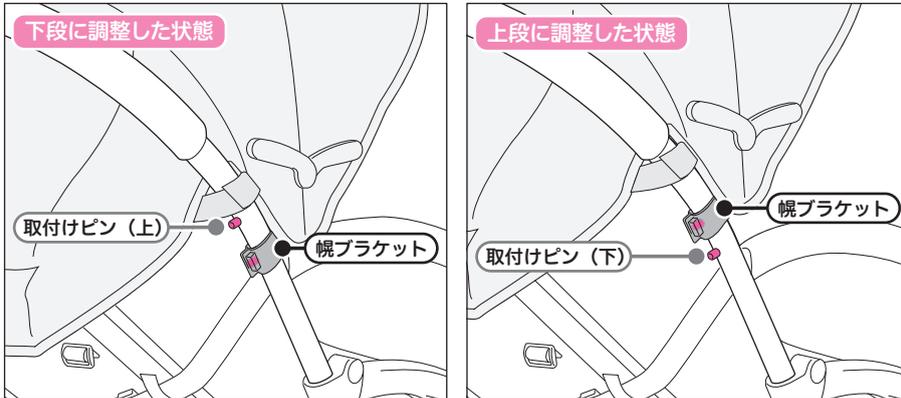
## 幌の高さを変える

幌は、お子さまの成長に応じて付け替えることで、2段階（上段または下段）の高さでお使いいただけます。

## 01

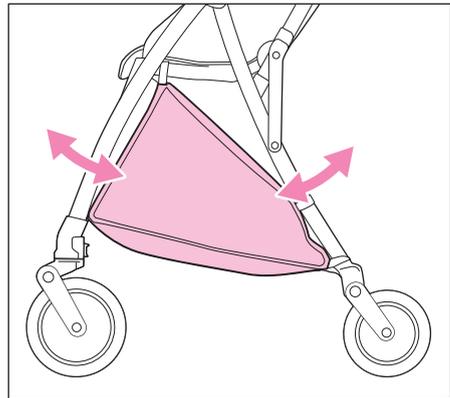
幌ブラケットを取り付ける、取付けピンの位置で幌の高さを変えます。取付けピン（下）または取付けピン（上）のいずれかに幌ブラケットを取り付けてください。左右とも同じ高さに取り付けます。

Q 参照 P.31-32 お手入れ>お手入れのしかた>部品の取り外し/取り付け>幌>幌の取り付けかた



## カゴの使いかた

カゴには、お子さまの荷物や、買い物の荷物などを入れておくことができます。前からも、後ろからも荷物の出し入れが可能です。カゴは、ベビーカーを開いた状態で使用します。



### ⚠ 警告

- 5kg以上の荷物は載せないでください。カゴが破損するおそれがあります。また、ベビーカーがバランスを崩して転倒し、お子さまが落下するおそれがあります。
- 割れ物、ピン類は入れないでください。走行中の衝撃などで破損するおそれがあります。
- 角のとがったものやカゴからはみ出すものは入れないでください。カゴの変形、破れの原因になります。
- カゴの底に均等に荷重が加わるように荷物を載せてください。

## インナーシートを取り外して使用する

本製品は、インナーシートを取り外したメッシュベースシートの状態でも使用することができます。以下を参照して、インナーシートを取り外します。

Q 参照 P.25-27 お手入れ>お手入れのしかた>部品の取り外し/取り付け>インナーシート

### 警告

お子さまを乗せたときは必ずシートベルトを締めてください。バックルを差し込まなかったり、シートベルトの締めかたが不完全だったりすると、お子さまが落下したりするおそれがあります。

### 注意

取り外したインナーシートは、お子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。

## お手入れのしかた

ベビーカーをより長く、常に快適で清潔に使用するためには、こまめにお手入れしてください。

### 警告

- 取り外した部品は、そのまま放置しないでください。お子さまが誤飲する、かぶるなどをして窒息するおそれなどがあります。
- 取り外した部品を取り付ける際は、本取扱説明書をよくお読みいただき、正しく取り付けてください。
- フロントガードカバー・シートベルト・幌を取り外した状態でベビーカーを使用しないでください。すべて正しく取り付けなおして使用してください。

### 注意

部品の取り付け、取り外しを行う際は、ケガをしないように注意してください。

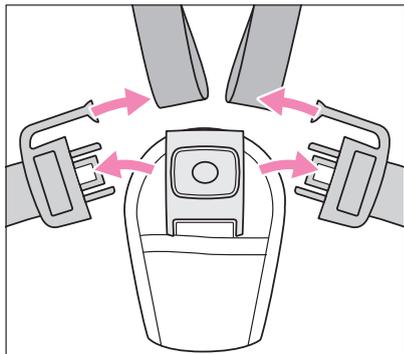
## 部品の取り外し／取り付け

### インナーシート

#### インナーシートの取り外しかた／取り付けかた

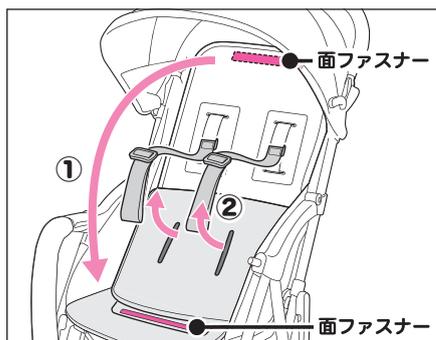
#### 01

あらかじめバックルを外し、差込みバックルから肩ベルトを外しておきます。



#### 02

- ① シートの背もたれ上端の面ファスナーを外し、インナーシートを前方にめくり、
- ② 肩ベルトを抜きます。

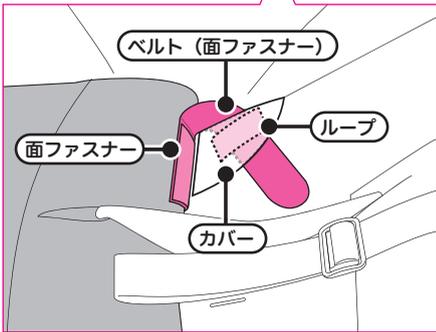
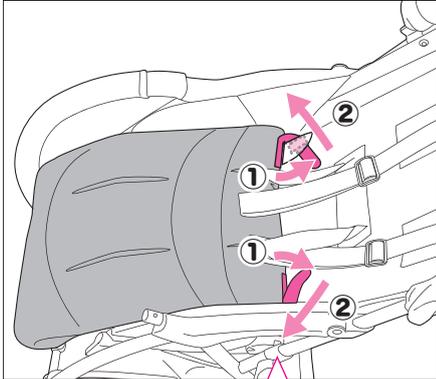


### 03

- ① インナーシート腰部のベルトの面ファスナーを外して、
- ② メッシュベースシートのループから抜き取ります。左右とも同じようにします。

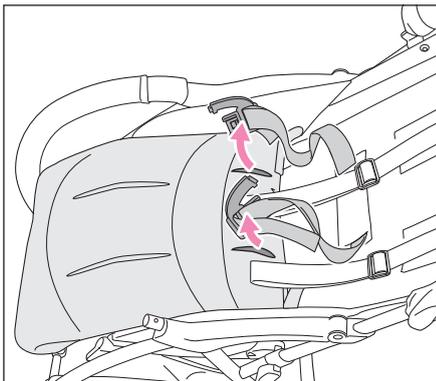
**ポイント**

ループの上にカバーが縫い付けられています。



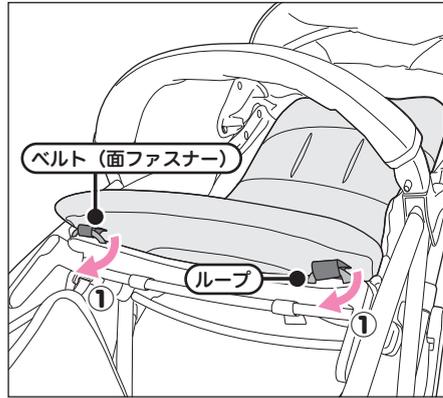
### 04

インナーシートから、腰ベルトを引き抜きます。

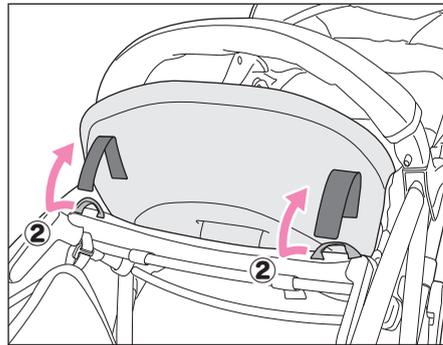


### 05

- ① メッシュベースシート前端左右にあるループに通して留められているインナーシートのベルトの面ファスナーを外して、
- ② ベルトをループから抜きます。

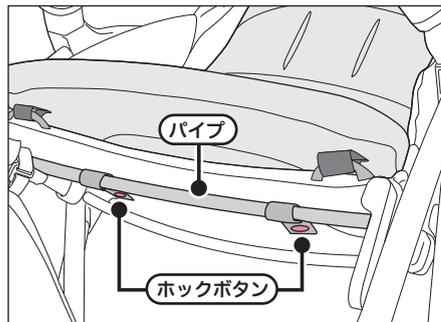


※図はシート先端の裏側から見たものです。



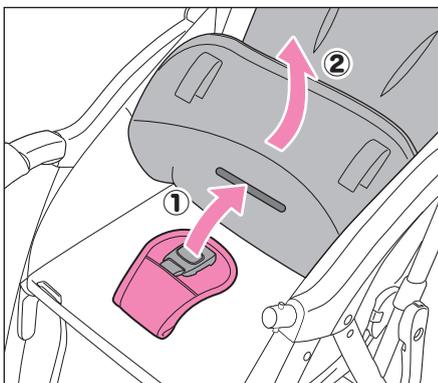
**ポイント**

メッシュベースシートをフレームのパイプに留めてあるホックボタン(2カ所)は外さないでください。



## 06

- ① インナーシートをめくり、股ベルトを開口部から抜きます。
- ② インナーシートを取り外します。



## 07

取り外しと逆の手順で取り付けてください。

## フロントガードカバー

### フロントガードカバーの取り外しかた/取り付けかた

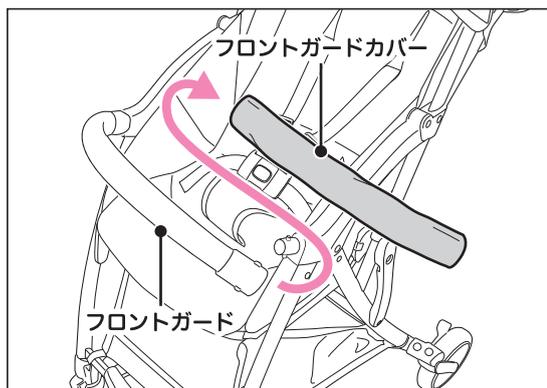
## 01

フロントガードを開きます。

🔍 参照 P.14 使用方法>使いかた>フロントガードの使いかた>フロントガードを開く

## 02

フロントガードカバーをフロントガードから引き抜きます。



## ⚠️ 注意

- フロントガードカバーは、きつめに差し込まれています。ケガや破損に注意して作業してください。
- ベビーカーをご使用の際は、必ずフロントガードカバーを取り付けてください。

## 03

取り外しと逆の手順で取り付けてください。

## シートベルト

### シートベルトの取り外しかた

## ⚠️ 注意

股ベルト（股ベルトパッド・受けバックル）は取り外すことができません。

### 🔍 ポイント

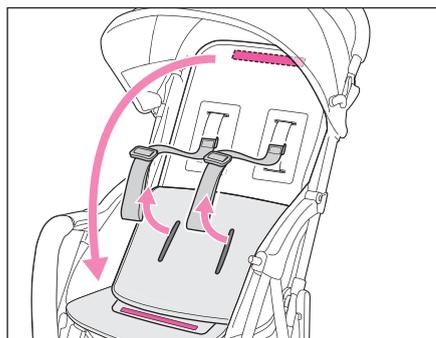
日常のお手入れにおいては、シートベルトを取り外す必要はありません。

### 肩ベルトの取り外し

## 01

以下を参照して、インナーシートをめくり、肩ベルトを左右とも抜いておきます。

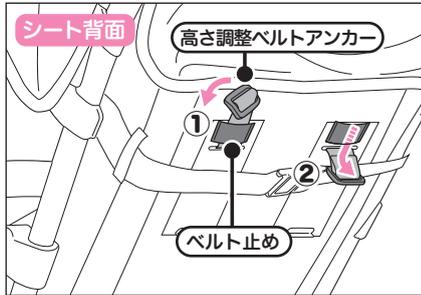
🔍 参照 P.25 お手入れ>お手入れのしかた>部品の取り外し/取り付け>インナーシート> 01-02



## 02

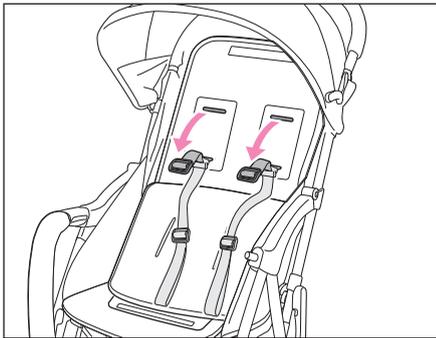
ベルト止めから高さ調整ベルトアンカーを引き抜きます。

- ① 高さ調整ベルトアンカーを少し回転させて、
  - ② ベルト止めから引き抜きます。
- 左右とも同じようにしてください。



## 03

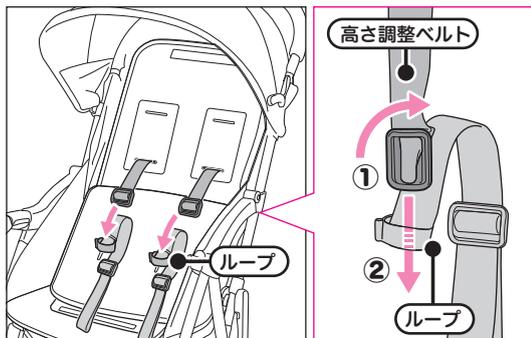
通し穴から高さ調整ベルトアンカーを抜いて、メッシュベースシートの前方に高さ調整ベルトを引き抜きます。左右とも同じようにしてください。



## 04

高さ調整ベルトアンカーから、肩ベルト上端のループを抜いて肩ベルトを取り外します。

- ① 高さ調整ベルトアンカーを 90 度回転させて
  - ② 肩ベルトのループを抜き取ります。
- 左右とも同じようにしてください。



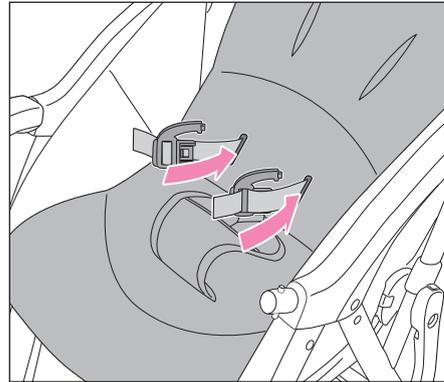
ポイント

高さ調整ベルトは取り外しできません。

## 腰ベルトの取り外し

### 01

ハックルを外し、インナーシートの通し穴から腰ベルトを抜いておきます。

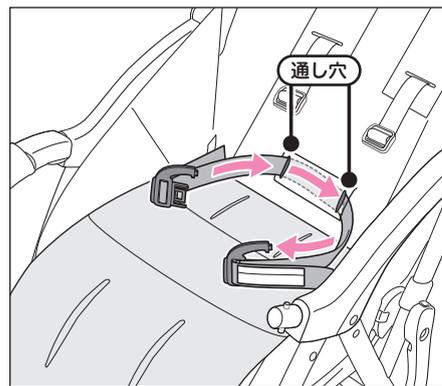


### 02

インナーシートをめくり、左右いずれか一方から差込みバックルをメッシュベースシートの通し穴に通して引き抜きます。

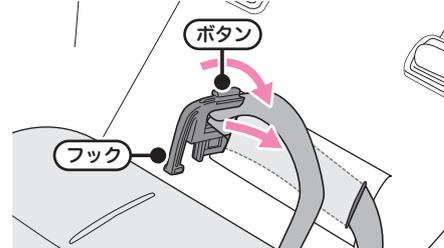


参照 P.26 お手入れのしかた>部品の取り外し / 取り付け>インナーシート> 04



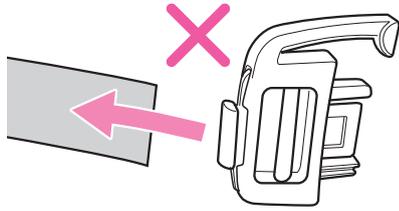
ポイント

差込みバックルを通し穴に通す操作は固めです。差込みバックルのフック側ではなく、ボタン側から角度を調整して通し穴に通してください。



## ⚠ 注意

差込みバックルから腰ベルトを抜かないでください。



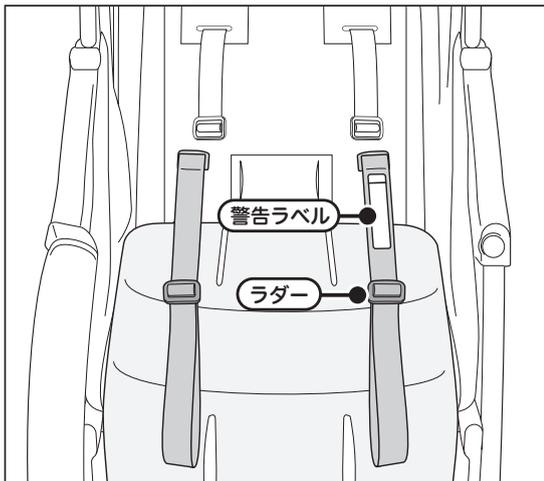
## シートベルトの取り付けかた

### 肩ベルトの取り付け

#### 01

取り外しと逆の手順で取り付けてください。肩ベルトには、左右、前後があります。あらかじめ向きを確認してください。

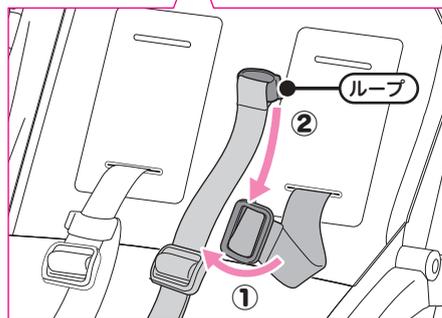
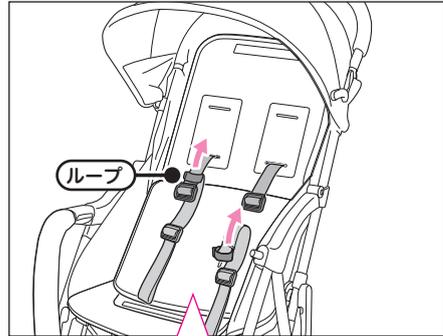
警告ラベルのある肩ベルトを向かって右にして、ラダー（肩ベルトの長さを調整するラダー）が表側になるようにします。



#### 02

- ① 高さ調整ベルトアンカーを 90 度回転させて、
- ② ループを高さ調整ベルトアンカーに通します。

左右とも同じようにしてください。



#### 03

高さ調整ベルトアンカーを通し穴から背面側に通します。

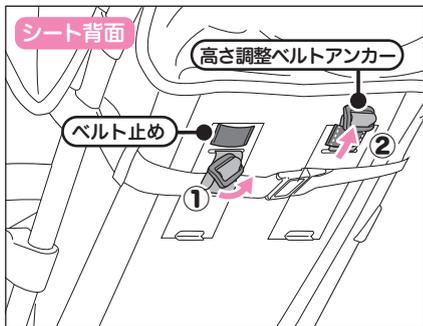
左右とも同じようにしてください。



## 04

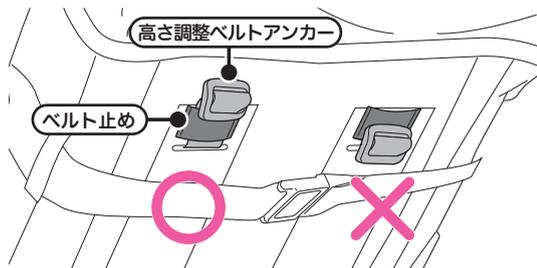
ベルト止めに高さ調整ベルトアンカーを通します。

- ① 高さ調整ベルトアンカーを少し回転させて、
  - ② ベルト止めに差し込みます。
- 左右とも同じようにしてください。



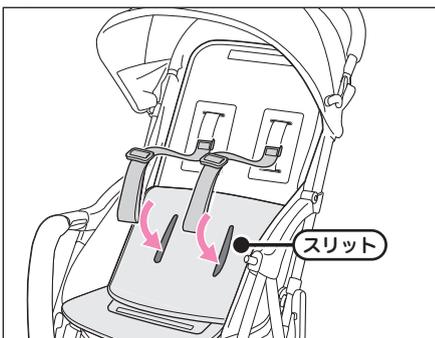
### 警告

使用中に肩ベルトが外れるおそれがありますので、肩ベルトの取り付けの際には高さ調整ベルトアンカーを必ずベルト止めに通すようにしてください。



## 05

インナーシートのスリットに、肩ベルトを通します。



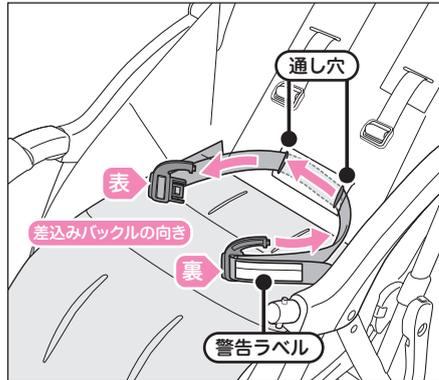
### ポイント

同時に腰ベルトを取り付ける場合は、先に腰ベルトを取り付けてから肩ベルトをスリットに通してください。

## 腰ベルトの取り付け

## 01

メッシュベースシートの通し穴に腰ベルトを通します。腰ベルトには表裏があります。差込みバックルの向きと、警告ラベルの向きを確認してください。下図を参照して正しい向きで通してください。



### ポイント

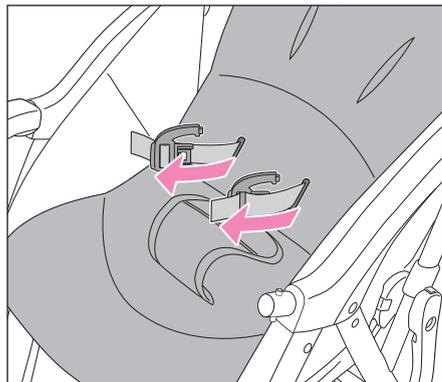
差込みバックルを通し穴に通す操作は固めです。差込みバックルのフック側ではなく、ボタン側から角度を調整して通し穴に通してください。

### 参照

P.28 お手入れ>お手入れのしかた>部品の取り外し/取り付け>シートベルト>シートベルトの取り外しかた>腰ベルトの取り外し>02>ポイント

## 02

インナーシートに腰ベルトを通します。



## 03

インナーシートをメッシュベースシートに取り付け、バックルを留めておきます。

### 参照

P.27 お手入れ>お手入れのしかた>部品の取り外し/取り付け>インナーシート>インナーシートの取り外しかた/取り付けかた>07

# 幌

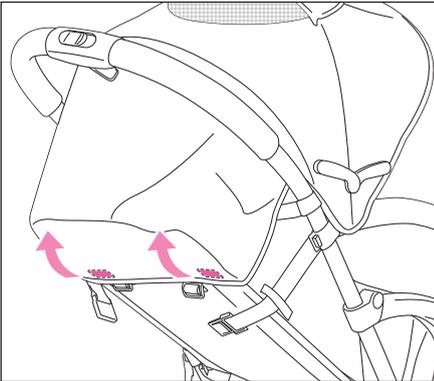
## 幌の取り外しかた

### ⚠ 注意

- 幌ブラケットは、固めに挟み込まれています。抜き取る際にケガをしないよう注意してください。
- 左右両方の、幌側面の面ファスナーと幌ブラケットを外し、幌後方の面ファスナーを外してから、幌を取り外してください。片側のみ操作して幌を取り外そうとすると、破損するおそれがあります。

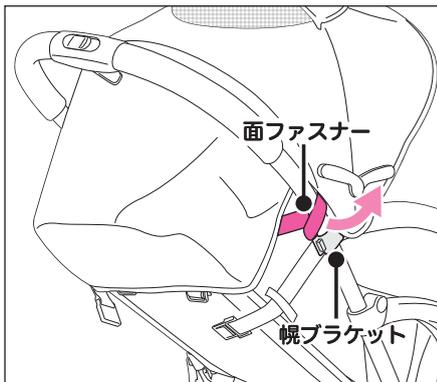
### 01

幌の後方にある、シートの背もたれと幌を固定している面ファスナー（左右2カ所）を外します。



### 02

幌ブラケットの上でフレームに巻き付けて固定されている幌側面の面ファスナー（左右2カ所）を外します。

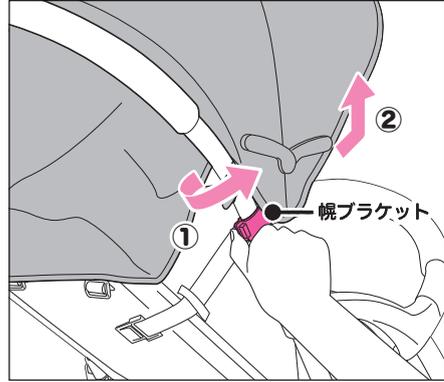


### 03

幌をフレームの突起部に固定している左右の幌ブラケットを外します。

左右それぞれ、

- ① ブラケットを外側にひねり、
- ② 幌本体を上方に引き上げます。



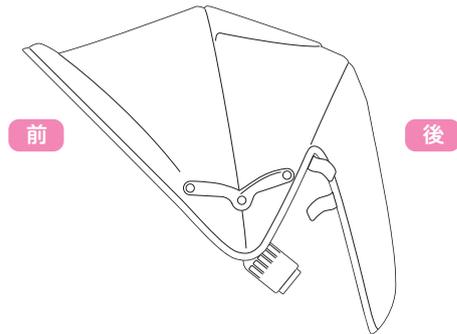
### ⚠ 注意

幌ブラケットは操作が固めに設定されています。指を挟まないように注意してください。

## 幌の取り付けかた

### 01

幌の前後を確認します。

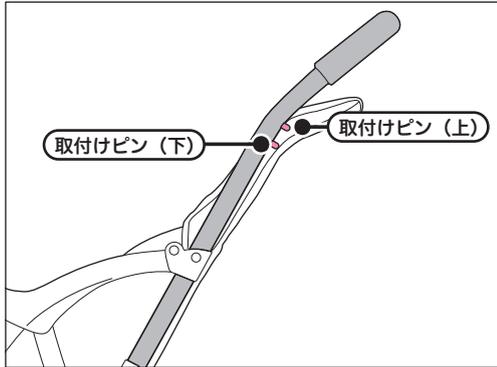


幌を取り付ける高さを決めます。本製品では、お子さまの成長に応じて幌の高さを二段階（上段または下段）で調整することができます。

お子さまの頭頂部が幌の内側に接する、もしくは生後36ヵ月を超えたら上段にして取り付けてください。

## 02

幌を上段にする場合にはフレームの取付けピン(上)を、幌を下段にする場合にはフレームの取付けピン(下)をそれぞれ使用します。



### ⚠ 注意

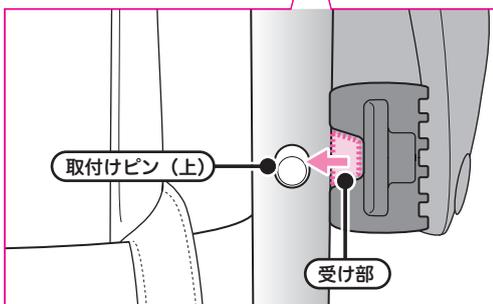
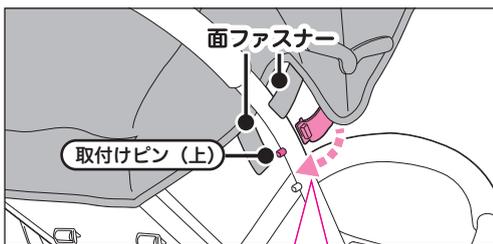
幌は、左右でズレが無いよう、上段または下段で同じ高さにして取り付けてください。左右で高さが異なると、幌が変形したり幌が本来の機能を果たさないおそれがあります。

### 💡 ポイント

以下では、幌を上段にして取り付ける場合を図示しています。下段にして取り付ける場合でも、使用する取付けピンの位置が異なるだけで、操作は同様です。

## 03

取付けピンに、幌ブラケットの受け部を合わせて、幌ブラケットをフレームに固定します。左右とも同じようにしてください。

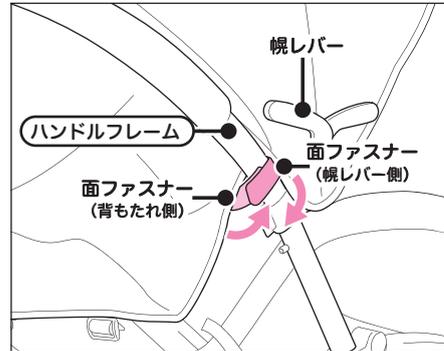


### 💡 ポイント

幌側面の面ファスナーは、ハンドルフレームの外側に出しておいてください。

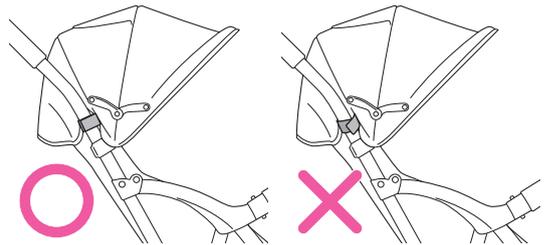
## 04

幌側面の面ファスナー(背もたれ側)に、もう一方の面ファスナー(幌レバー側)を、ハンドルフレームの上になるようにして、重ね合わせて留めます。左右とも同じように留めてください。



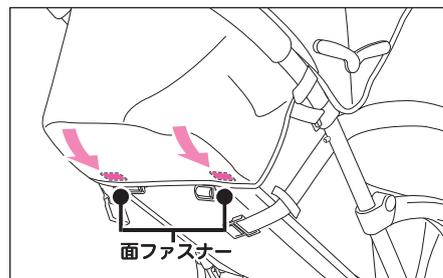
### ⚠ 注意

- 幌側面の面ファスナーで幌が固定されていない状態で幌を前後に強く引っ張ると、幌が変形するおそれがあります。必ず幌の左右とも面ファスナーで固定してください。
- 位置ズレなどが無いようにまっすぐにして面ファスナーを取り付けてください。位置ズレなどがあると、使用中に幌側面の面ファスナーが外れるおそれがあります。



## 05

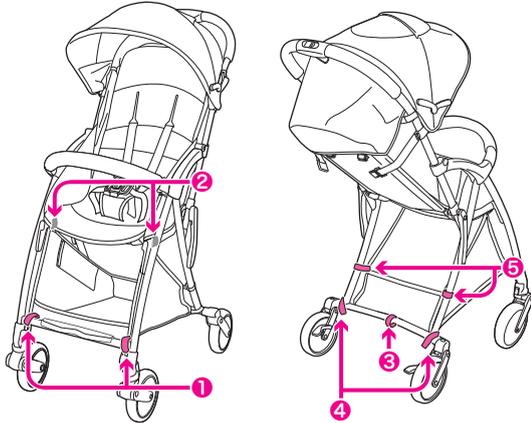
幌の後方にある面ファスナーを、シートの背もたれに留めて固定します。



# カゴ

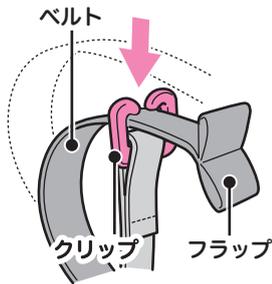
## カゴの取り外しかた

カゴは、クリップとフックで取り付けられています。クリップ①～④（7カ所）とフック⑤（2カ所）を外して、カゴを取り外します。

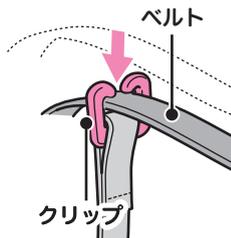


### ポイント

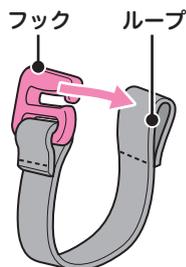
①②は、ベルトとクリップで留められています。ベルトをねじり、クリップの隙間からベルトを通して、下図のように取り付けてください。



③④は、ベルトとクリップで留められています。①②と異なり、ベルトの先端部にフラップはついていません。それぞれ所定の部位にベルトをまわして、クリップを通して取り付けてください。

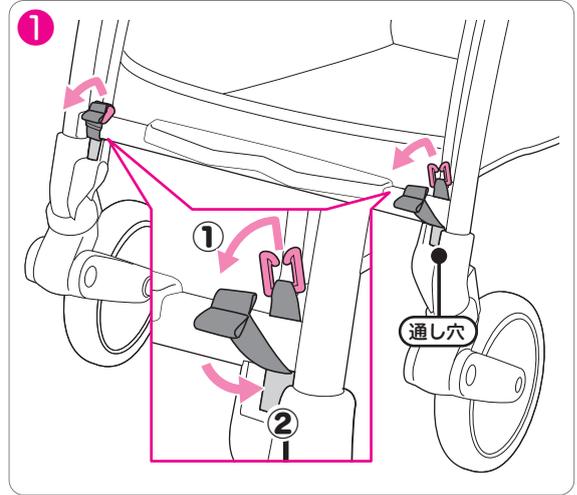


⑤は、ベルトとフックで留められています。フックの先端部をループに差し入れて取り付けてください。



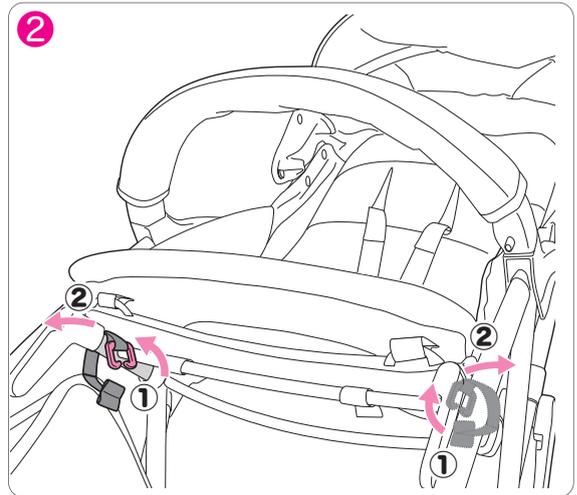
## 01

- ① 前の下側のクリップ（2カ所）を外して、
- ② 通し穴からベルトを抜きます。



## 02

- ① メッシュベースシート前端の下のクリップ（2カ所）を外して、
- ② メッシュベースシートと、フレームのすき間からクリップのベルトを抜き取ります。



※図はシート先端の裏側から見たものです。

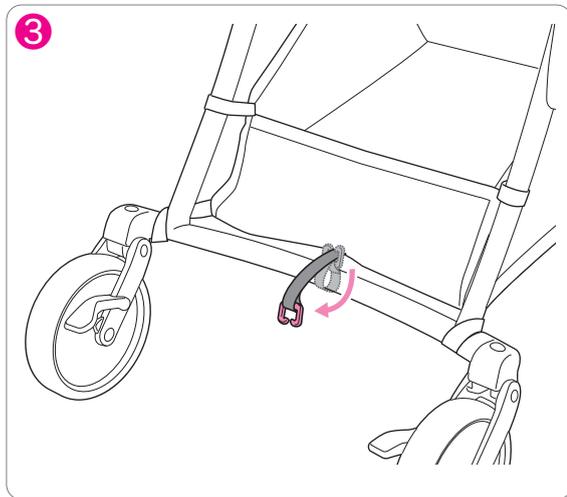
### ポイント

メッシュベースシートとフレームのすき間は狭くなっていますので、注意して操作してください。

お手入れ

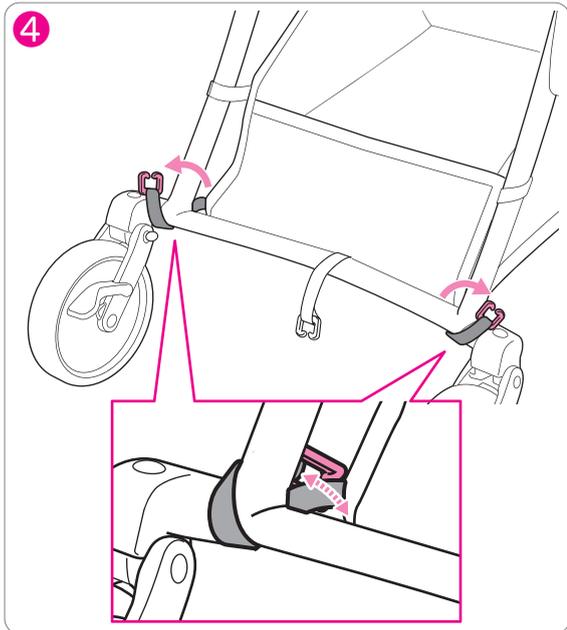
### 03

後部の後ステーの中央部に留めてあるクリップを外します。



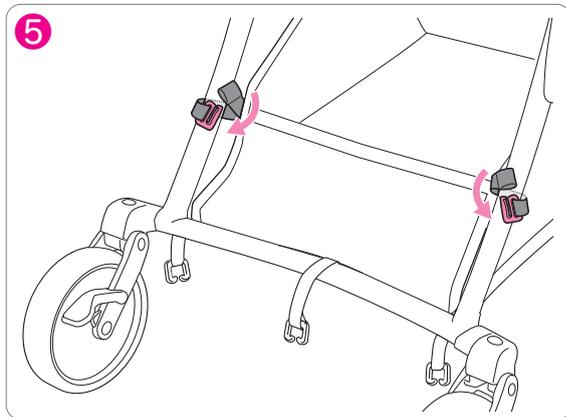
### 04

後輪部左右のクリップ (2 ヲ所) を外します。



### 05

後部の左右フレームに留めてあるフック (2 ヲ所) を外して、カゴをベビーカーから取り外します。



#### カゴの取り付けかた

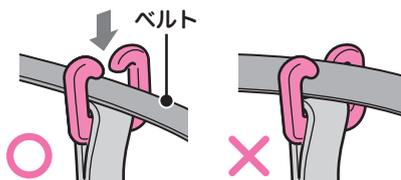
### 01

取り付ける場合は、取り外しの逆の手順で行ってください。①～⑤ (合計9 ヲ所) のクリップ、フックを留めてカゴを取り付けます。

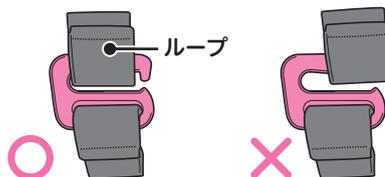
#### ⚠ 注意

クリップとフックは、確実に取り付けてください。取り付けが不完全だと、カゴが脱落するおそれがあります。

#### ①②③④ クリップ

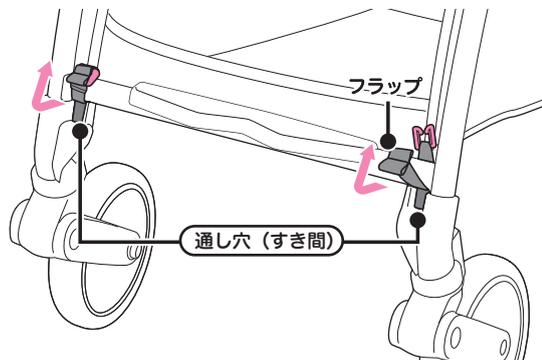


#### ⑤ フック

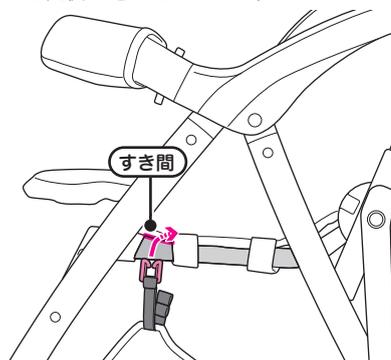


## ポイント

- ① キャスター上部の通し穴（すき間）にベルトのフラップを通すようにしてください。



- ② 座面部分のフレームとメッシュベースシートのすき間に（下図の位置）、外側からフックを差し込んでベルトを内側に通してください。



## 縫製品の洗濯

快適にお使いいただくために、汚れたら洗濯・洗浄してください。

### 注意

- 部品の取り外しを行う際は、シートの取付け部、ガードの差込口、幌の取付け部などでケガをしないように注意してください。
- 製品の特性上、ご使用によっては若干色落ち・色あせすることがあります。
- 蛍光増白剤や漂白剤が入っている洗剤のご使用は避けてください。事前に洗剤の注意書きを読んでご使用ください。
- 漂白剤はご使用いただけません。
- タンブル乾燥機はご使用いただけません。
- 乾燥が不十分な場合、臭いやカビが発生するおそれがあります。
- アイロンはご使用いただけません。
- 商業クリーニング（ドライクリーニングやウェットクリーニング）はできません。

### 水洗いによるお手入れ

- ・ インナーシート
- ・ フロントガードカバー

- 手洗いの場合、衣類用の中性洗剤を 30℃ 以下のお湯に溶かし、やさしく手洗いしてください。
- 洗濯機を使用するときは、洗濯用ネットに入れて、衣類用の中性洗剤を使用して、液温 30℃ 以下の弱水流または手洗いモードで洗濯してください。
- 脱水後はすみやかに取り出し、形を整えて日陰に平干ししてください。

### 注意

- 汚れた状態で保管するとカビが発生することがあります。こまめに洗濯をして清潔に保つように心がけてください。
- 洗濯を繰り返すと小さなシワが発生したり、クッションが多少薄くなる場合がありますが、使用上の問題はありません。
- 面ファスナーは、縫製品や他の衣類をキズつけるおそれがあります。面ファスナーを合わせるか、または、保護布を付けるなどして、面ファスナーが表面に出ないようにして洗濯してください。

## 拭取りによるお手入れ

- ・ 幌
  - ・ メッシュベースシート\*
  - ・ 肩ベルト / 腰ベルト / 股ベルト
  - ・ カゴ
- \* メッシュベースシートは、インナーシートを取り外した本製品の座席部分を指します。

- ぬるま湯に衣類用の中性洗剤を溶かした洗浄液を、ブラシやスポンジなどにつけて、汚れをとってください。
- 洗剤を使用して汚れをとったあとは、水を含ませた布やスポンジで、洗剤成分が残らないように数回拭取ってください。
- 乾かすときは、乾いた布で水分を拭取り、陰干ししてください。

### ⚠ 注意

- 洗濯機はご使用できません。
- 拭取りの際は、面ファスナーや部品でケガをしないように注意してください。

## 車体の洗浄

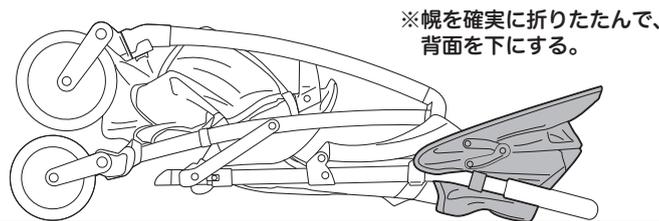
使用前に、タイヤやフレームについた泥、ホコリなどはよく絞った濡れタオルなどを使ってきれいに拭取ってください。

### ⚠ 注意

- 定期的に清掃を行ってください。車体に泥やホコリなどがついたまま使用しないでください。
- 洗剤やウェットシートにはプラスチックに影響を及ぼす成分が含まれているものがあり、変色したり、破損するおそれがあります。

## 保管のしかた

ベビーカーの保管は折りたたんで、立てて保管してください。  
やむを得ず、寝かせて保管する場合は、幌を確実に折りたたんだ状態で、図のように背面を下にしてください。



幌が壁面に当たらないように保管してください。  
ベビーカーの上に、荷物を置いたり、圧力がかかる状態で保管しないでください。

### ⚠ 注意

- 火の近くや高温になる場所、日光が常に当たりつづける場所、雨や水のかかる場所、湿気が多い場所での放置・保管は行わないでください。故障・変形・カビ発生の原因となります。
- 夏季の車中には保管しないでください。
- やむを得ず、屋外で保管する場合はカバーをおかけください。

## 点検のしかた

結合部分のゆるみ、部品の欠損および動作不良などの異常がないか適時点検してください。

### 日常的な点検項目

- ① 開閉操作を行い、異常の有無を確認する。
- ② 製品の外観を見て、部品・リベットの緩み、飛び出し、外れがないか確認する。  
車体に変形したり、パイプの曲がりや損傷がないことを確認する。  
プラスチック部品や金属部品のヒビ割れや変形がないことを確認する。
- ③ ストッパーレバーを操作して、車輪が回らないことを確認する。
- ④ バックルに肩ベルト、腰ベルトを通してあることを確認する。  
バックルがロックすることを、ロック・解除の操作をして確認する。
- ⑤ ベルトやシートに破れ、ほつれ、切れ、その他の異常がないことを確認する。
- ⑥ 各部の操作を行い、異常がないことを確認する。
- ⑦ タイヤが摩耗により薄くなっていないか、車輪が緩んでいないかを確認する。
- ⑧ 走行時に異常がないかを確認する。

### 警告

- ご自身で、製品の改造や分解、修理を行わないでください。
- 点検により異常を確認した場合は、ただちに使用を中止して修理センターに修理を依頼してください（修理センターの連絡先は、本取扱説明書の裏表紙に記載してあります）。
- バックルに異常が生じたときは、そのまま使用しないでください。
- タイヤが摩耗により薄くなったときは、交換してください。（車輪は消耗品ですので交換が必要です。交換は修理センターで有償で行います。）
- 長期間ご使用されなかった場合は、使用開始前に必ず上記点検を実施してください。

## 注油について

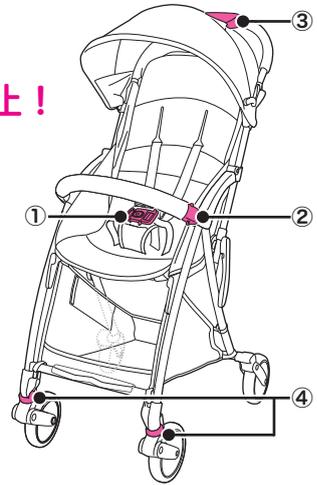
きしみなどの異音が発生したり、動作が滑らかでなくなったりした場合は、市販の潤滑油（シリコン系）を少量（1カ所2～3滴）注油してください。注油量が多すぎると、ホコリが付着して逆に機能を低下させるおそれがあります。

## 警告

### 注油禁止！

下記の場所には注油しないでください。動作不良を起こすおそれや、バックルやフロントガードが不意に外れて、お子さまが落下するおそれがあります。

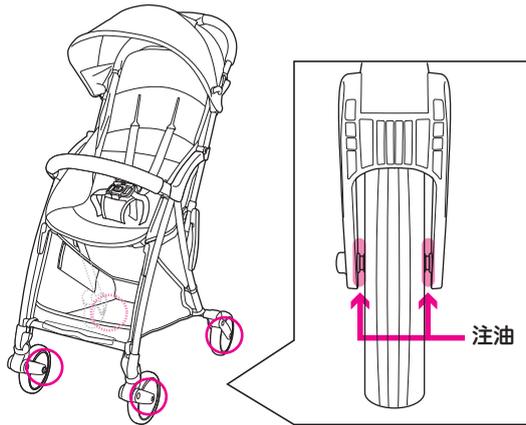
- ①シートベルトのバックル
- ②フロントガードの取付け部
- ③開閉レバー部
- ④キャスター回転部



## 注意

- お子さまが触れたりなめたりするおそれのある縫製品やフロントガード、アームレストには油がつかないように注意してください。万が一ついてしまった場合は、油をしっかり拭取ってから使用してください。
- 樹脂やゴムを侵食するおそれがありますので、グリースや機械油、石油系溶剤（有機溶剤）を含む潤滑油は使用しないでください。「シリコン系」と明記された潤滑油のみ使用できます。

走行時に異音が発生した場合は、下図の場所に注油してください。

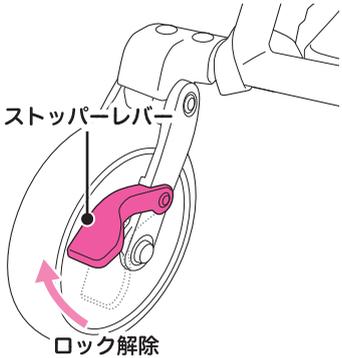
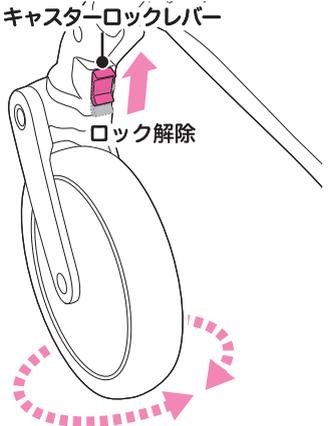


## 廃棄方法について

お住まいの各自治体の廃棄方法に従って処分してください。  
環境保護のため、適正な廃棄をせずに放置することはおやめください。

# こんなときは

本取扱説明書の説明で本製品の操作ができない場合には、下記の対処方法をご確認の上操作してみてください。それでも解決できない場合は、修理センターまでご連絡をお願いいたします。

操作ができない	内容	対処方法
ベビーカーがたためない	開閉ロックにベルトなどが挟まれている場合があります。	挟まっているベルトなどを引き出してください。
ベビーカーが開かない	幌を広げた状態では、ベビーカーを開くことができません。	幌を折りたたんでから開いてください。
	開閉レバーロックがロック状態のままでは、開閉レバーの操作ができません。	開閉レバーロックを解除してください。
	カゴが引っかかっている場合があります。	カゴの取付け方法、カゴの取付けベルトの位置をお確かめください。
車輪が回らない	ストッパーレバーのロックを解除しないと車輪は回りません。 製品を箱から取り出したときにはロックがかかった状態です。	後輪左右のストッパーレバーのロックを解除してください。 
キャストが動かない	キャストがロックの状態では、キャストが回転しません。	前輪左右のキャストのロックを解除してください。 
バックルが留まらない	バックル（股ベルトのバックルと腰ベルトの差込みバックル）が留められない。	バックルを固定しづらい場合は、お菓子や飲み物などの異物が入っている可能性があります。バックルに異常を感じた場合は、使用を中止して、修理センターへご連絡いただき、点検修理を受けてください。

# SG マーク被害者救済制度



SG マーク被害者救済制度は、SG マーク付き製品の欠陥により発生した人身事故に対する賠償制度です。  
ただし、お買上げ日より4年以内に限りです。

## ●賠償についてのご注意

認定したベビーカーそのものが故障したとしても、その品質について保証するというものではありません。傷害などの身体的な損害について賠償する制度です。

## ●製品の欠陥により事故が起きた場合には

製品の欠陥により事故が起きた場合には、下記の「事故の届出に必要な項目」を、事故が発生した日から60日以内に、製品安全協会または協会が指定する所に届けてください。

製品安全協会

〒110-0012 東京都台東区竜泉 2-20-2 ミサワホームズ三ノ輪 2F

お問合せ先：<https://www.sg-mark.org/trouble>



## [事故の届出に必要な項目]

### ① 被害者情報

- イ) 申出者の氏名、電話番号、住所、メールアドレス
- ロ) 被害者の氏名、性別・年齢、電話番号、住所、メールアドレス

### ② 事故に関する情報

- イ) 製品名
- ロ) メーカー名
- ハ) 購入場所、購入年月日
- ニ) 事故発生日
- ホ) 事故発生状況
- ヘ) 怪我の部位・程度

# アフターサービス

以下の場合には、ただちにご使用を中止し、製品名、シリアル番号（ハンドル左内側に記載）をご確認の上、当社修理センターまでご連絡ください。  
そのままご使用になりますと、重大な事故につながるおそれがあります。

- ・ ご使用中に故障などが発生した場合
- ・ 点検中に破損などを発見した場合
- ・ 部品の交換、修理の必要が生じた場合
- ・ その他異常を感じた場合

無償保証期間を終了した場合の修理、部品販売については、有償にて承ります。  
修理必要部品の在庫がなくなった場合には、修理できないことがあります。  
また、部品の色・柄などについてはご希望に添えない場合があります。

本製品は、標準的なご使用での設計上の耐用年数を5年間としています。  
ご購入後、5年間を経過した製品については、ご使用を中止してください。  
また、5年以内のご使用の場合でも、使用頻度、使用環境、保管条件によりましては、万が一故障を起こす場合があります、5年間の品質を保証するものではありません。

● 製品の修理、部品の購入などに関するお問合せ  
〒300-0315 茨城県稲敷郡阿見町香澄の里 36-3  
ピジョン株式会社 修理センター  
TEL 0120-953-618  
受付時間 9時～16時30分（土・日・祝日を除く）

# 保証について

保証書は日本国内において有効です。

この保証書は明示した期間、条件の下において**無償**での対応をお約束するものです。

従いまして、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。

ご使用中、万一故障が発生した場合は、お買い上げの販売店または**ピジョン（株）修理センター**へ現品に保証書をそえて、修理を依頼ください。

保証期間経過後の故障などの対応等につきまして、お分かりにならない場合は、お買い上げの販売店または**ピジョン（株）修理センター**までお問合せください。

保証書は再発行いたしません。（大切に保管してください。）

## 保証書

品名 / カラー	ピジョン ビングル BB4			
シリアル No.	ハンドル左内側に貼付のシールに記載されています。			
保証期間	お買い上げ日より1年間	お買い上げ日	年 月 日	ただし、保証規定による
お客様	お名前			
	ご住所 〒			
	電話 ( )			
販売店	店名			
	住所 〒			
	電話 ( )			

\*太枠内の記入なき場合は無効となりますので、必ずご記入ください。

\*ただし、お買い上げ時のレシートまたは販売証明書の添付でも有効です。

### 保証規定

- 保証期間は「お買い上げ日より1年間」です。
- 製造終了から3年経過した製品や、修理に必要な部品の在庫が無くなった場合、既に修理対応ができない製品については、修理をお受けできない場合がございます。
- 保証期間内に取扱説明書に基づく正常な使用方法において、万が一故障した場合には無償修理を行います。  
お客様の誤使用などによる故障においては有償修理となります。  
また依頼時点の状況により保証期間内であっても修理自体ができない場合もありますので予めご了承ください。
- 保証期間内であっても下記の項目に該当するものは有償修理となります。
  - 保証書の提示のない場合（製品に同梱されている取扱説明書にあります）
  - 部品の自然劣化及び自然消耗による変退色
  - 可動部（車軸、軸受部、ストッパーレバー等）、消耗部品（タイヤ、タイヤチューブ、虫ゴム、車輪等）の消耗、故障、損傷等
  - 縫製品の色あせ・やぶれ・すり切れ・ほつれ、その他の損傷及び破損
  - お客様の誤使用・保管不備・手入れ不足・改造や不当な修理による故障、損傷及び破損
  - 部品の紛失
  - 火災・地震・水害・落雷等、天災地変などの不可抗力による故障、損傷及び破損
  - 事故や落下などにより強い衝撃を受けたことによる故障、損傷及び破損
  - 故障の原因が本製品以外に起因する場合
  - レンタル業などの業務用や施設用など、一般家庭以外でご使用の場合
  - 故障ではない箇所をお客様のご依頼により交換する場合
  - 本取扱説明書の必要記入項目に不備がある場合、字句を書き換えられた場合
- 製品による二次的な損傷、損害などは本保証の対象外となります。
- 本保証は、日本国内で購入し使用した場合においてのみ有効です。海外への修理サービスは、いたしかねます。
- 本保証は、保証書に記載の販売店からお買い上げいただきましたお客様（贈答品については、当該お客様より贈答を受けた方）のみ有効です。  
ネットオークション、フリーマーケット、リサイクルショップなどにより、第三者から有償無償を問わず譲渡を受けた製品につきましては、本保証は適用されません。

2022年8月現在

# MEMO

[お願い]

製品は品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。ご了承ください。

● 製品の各種お問合せ先

〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町 4-4

**ピジョン株式会社 お客様相談室**

TEL 0120-741-887

受付時間 9時～17時（土・日・祝日を除く）



<https://support.pigeon.co.jp/babycar/>

● 製品の修理、部品の購入などに関するお問合せ先

〒300-0315 茨城県稲敷郡阿見町香澄の里 36-3

**ピジョン株式会社 修理センター**

TEL 0120-953-618

受付時間 9時～16時30分（土・日・祝日を除く）